

I 県民向け調査

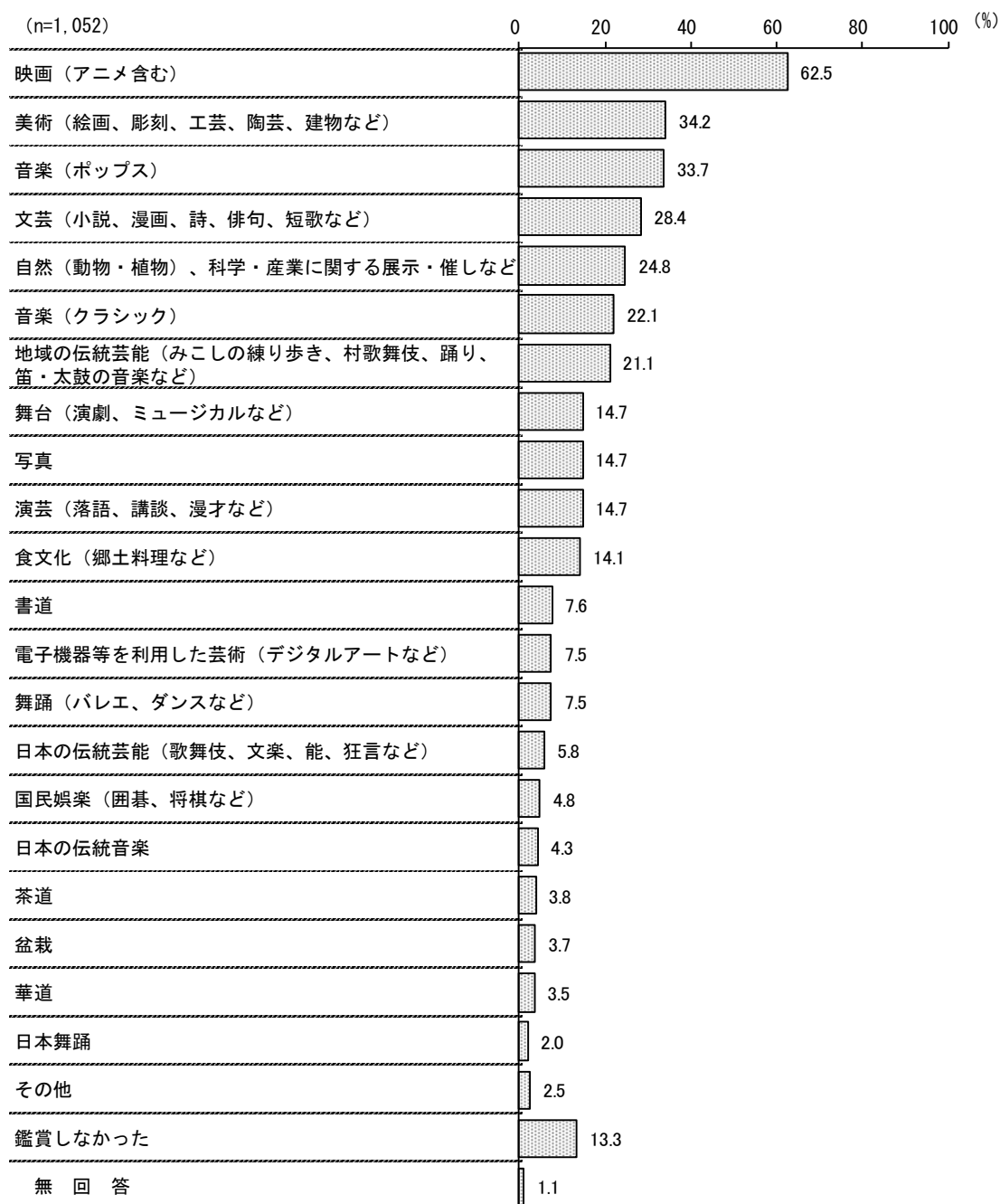
1. 鑑賞（体験）について

(1) 昨年度に鑑賞（体験）した文化芸術

◇『映画（アニメを含む）』が6割を超えており最も高い

問1 あなたが昨年度、鑑賞（体験）した文化芸術はどれですか。（〇はいくつでも）
 ※昨年度とは、平成30年4月1日から平成31年3月31日とします。

<図表 I - 1 - 1> 昨年度に鑑賞（体験）した文化芸術



昨年度に鑑賞（体験）した文化芸術を聞いたところ、「映画（アニメ含む）」（62.5%）が約6割で最も高く、以下「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など）」（34.2%）、「音楽（ポップス）」（33.7%）、「文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）」（28.4%）となっている。

一方で、「鑑賞しなかった」（13.3%）が1割を超えている。（図表 I - 1 - 1）

【地域別】

地域別にみると、「地域の伝統芸能（みこしの練り歩き、村歌舞伎、踊り、笛・太鼓の音楽など）」は、“夷隅地域”（57.1%）で約6割と、他の地域に比べ高くなっている。

（図表 I - 1 - 2）

【性・年代別】

性・年代別でみると、「映画（アニメ含む）」は、女性の18～29歳（95.7%）で9割台半ば、男性の30代（86.8%）で8割台半ばと、他の年代に比べ高くなっている。

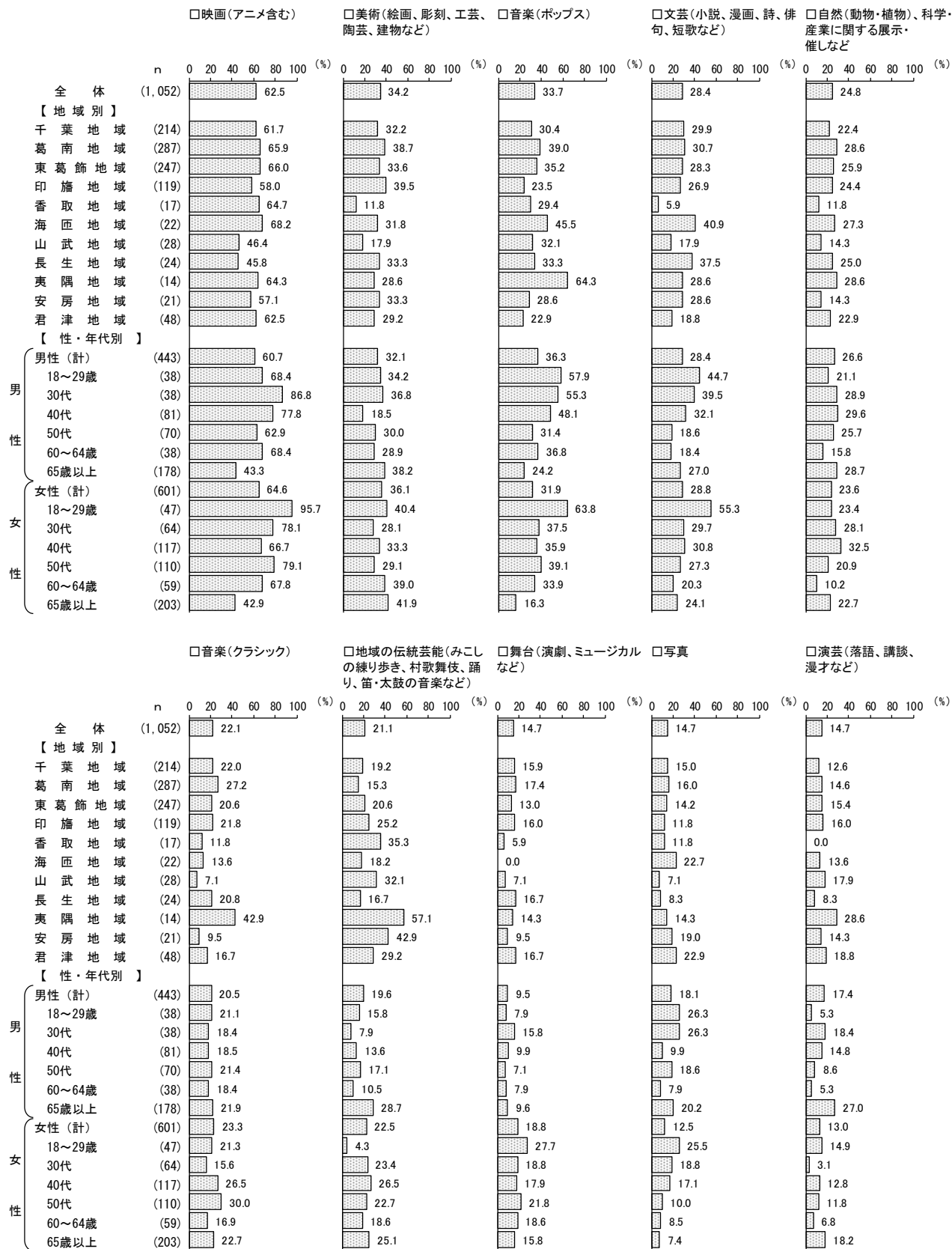
「音楽（ポップス）」は、女性の18～29歳（63.8%）で6割台半ば、男性の18～29歳（57.9%）で約6割、男性の30代（55.3%）で5割台半ばと、他の年代に比べ高くなっている。

「文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）」は、女性の18～29歳（55.3%）で5割台半ば、男性の18～29歳（44.7%）で4割台半ばと、他の年代に比べ高くなっている。

「地域の伝統芸能（みこしの練り歩き、村歌舞伎、踊り、笛・太鼓の音楽など）」は、男性の65歳以上（28.7%）で約3割と、他の年代に比べ高くなっている。

（図表 I - 1 - 2）

<図表 I - 1 - 2> 昨年度に鑑賞（体験）した文化芸術／地域別、性・年代別（上位10項目）



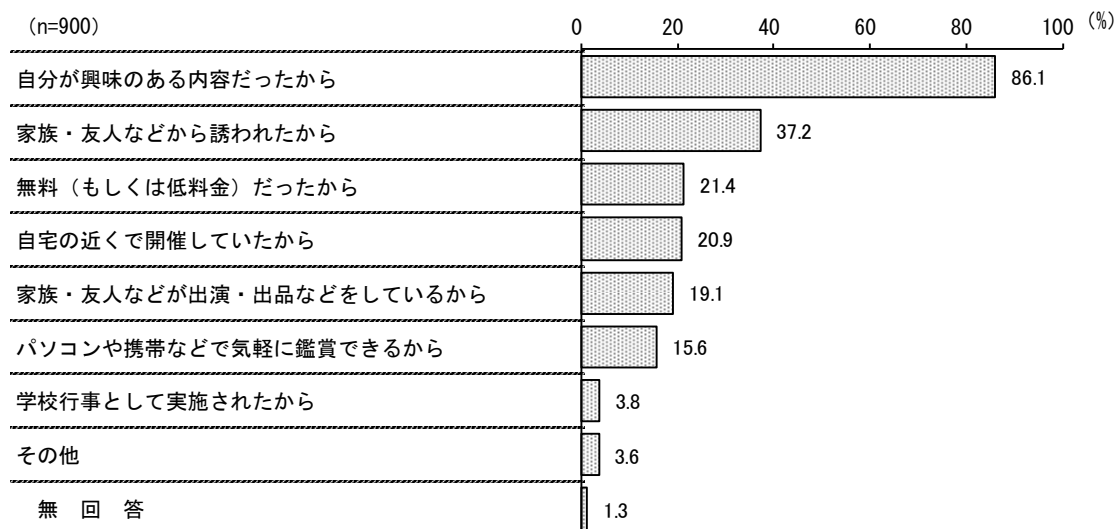
(2) 文化芸術を鑑賞（体験）した理由

◇『自分が興味のある内容だったから』が8割台半ばで最も高い

【問1で「1」～「22」のいずれかに回答した方に】

問2 あなたが昨年度、文化芸術を鑑賞（体験）した理由はなんですか。（〇はいくつでも）

<図表 I - 1 - 3>文化芸術を鑑賞（体験）した理由



「昨年度に鑑賞（体験）した方」900人を対象に、鑑賞（体験）した理由を聞いたところ、「自分が興味のある内容だったから」（86.1%）が8割台半ばで最も高く、以下「家族・友人などから誘われたから」（37.2%）、「無料（もしくは低料金）だったから」（21.4%）、「自宅の近くで開催していたから」（20.9%）となっている。

（図表 I - 1 - 3）

【地域別】

地域別にみると、「自宅の近くで開催していたから」は、「夷隅地域」（50.0%）で5割と、他の地域に比べ高くなっている。

（図表 1 - 1 - 4）

【性・年代別】

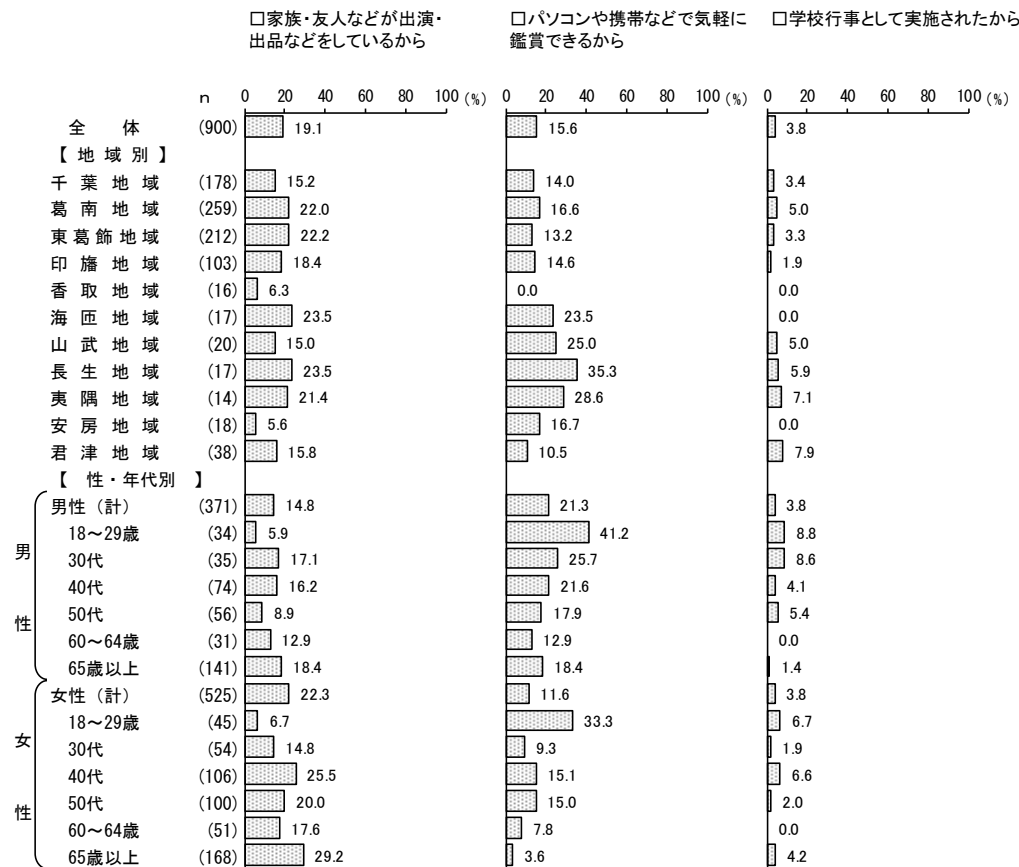
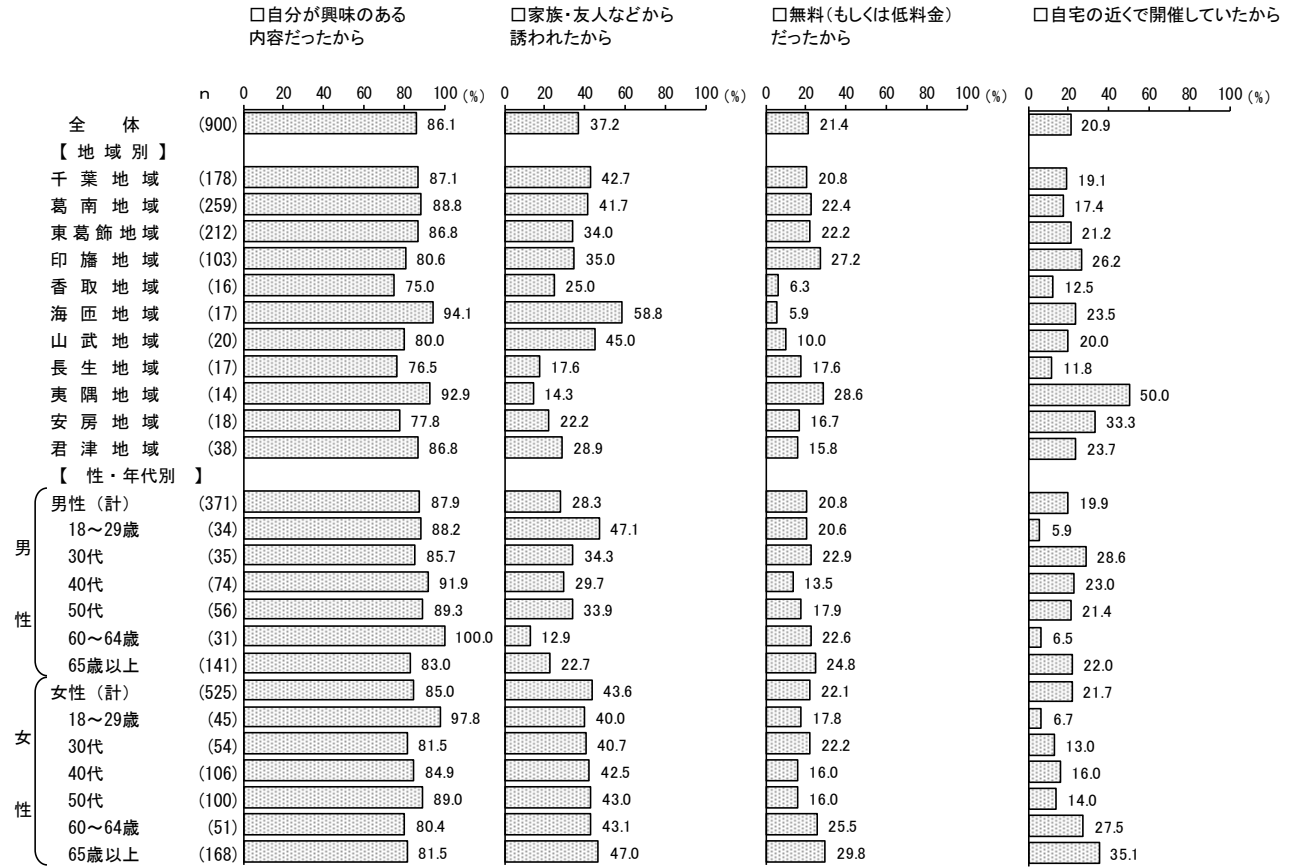
性・年代別でみると、「家族・友人などから誘われたから」は、女性の65歳以上（47.0%）で約5割と、他の年代に比べ高くなっている。

「無料（もしくは低料金）だったから」は、女性の65歳以上（29.8%）で約3割と、他の年代に比べ高くなっている。

「自宅の近くで開催していたから」は、女性の65歳以上（35.1%）で3割台半ばと、他の年代に比べ高くなっている。

（図表 1 - 1 - 4）

<図表 I - 1 - 4>文化芸術を鑑賞（体験）した理由／地域別、性・年代別



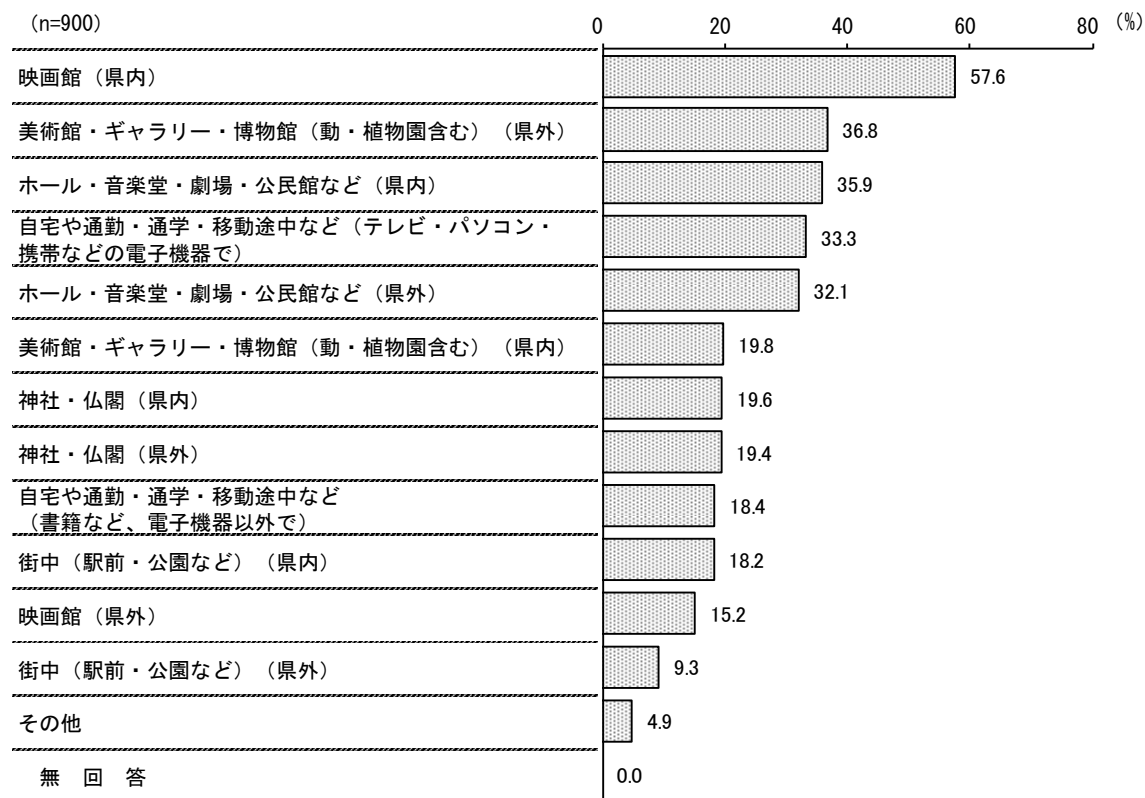
(3) 文化芸術を鑑賞（体験）した場所

◇『映画館（県内）』が約6割で最も高い

【問1で「1」～「22」のいずれかに回答した方に】

問3 あなたは昨年度、文化芸術をどこで鑑賞（体験）しましたか。（〇はいくつでも）

<図表 I - 1 - 5>文化芸術を鑑賞（体験）した場所



「昨年度に鑑賞（体験）した方」900人を対象に、鑑賞（体験）した場所を聞いたところ、「映画館（県内）」（57.6%）が約6割で最も高く、以下「美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）（県外）」（36.8%）、「ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県内）」（35.9%）、「自宅や通勤・通学・移動途中など（テレビ・パソコン・携帯などの電子機器で）」（33.3%）、「ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県外）」（32.1%）となっている。

また、「映画館」は『県内』が『県外』に比べ約42ポイント高く、「美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）」は『県内』が『県外』に比べ約17ポイント低い。

（図表 I - 1 - 5）

【地域別】

地域別にみると、「美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）（県内）」は、“千葉地域”（27.5%）で約3割と、他の地域に比べ高くなっている。

（図表 1 - 1 - 6）

【性・年代別】

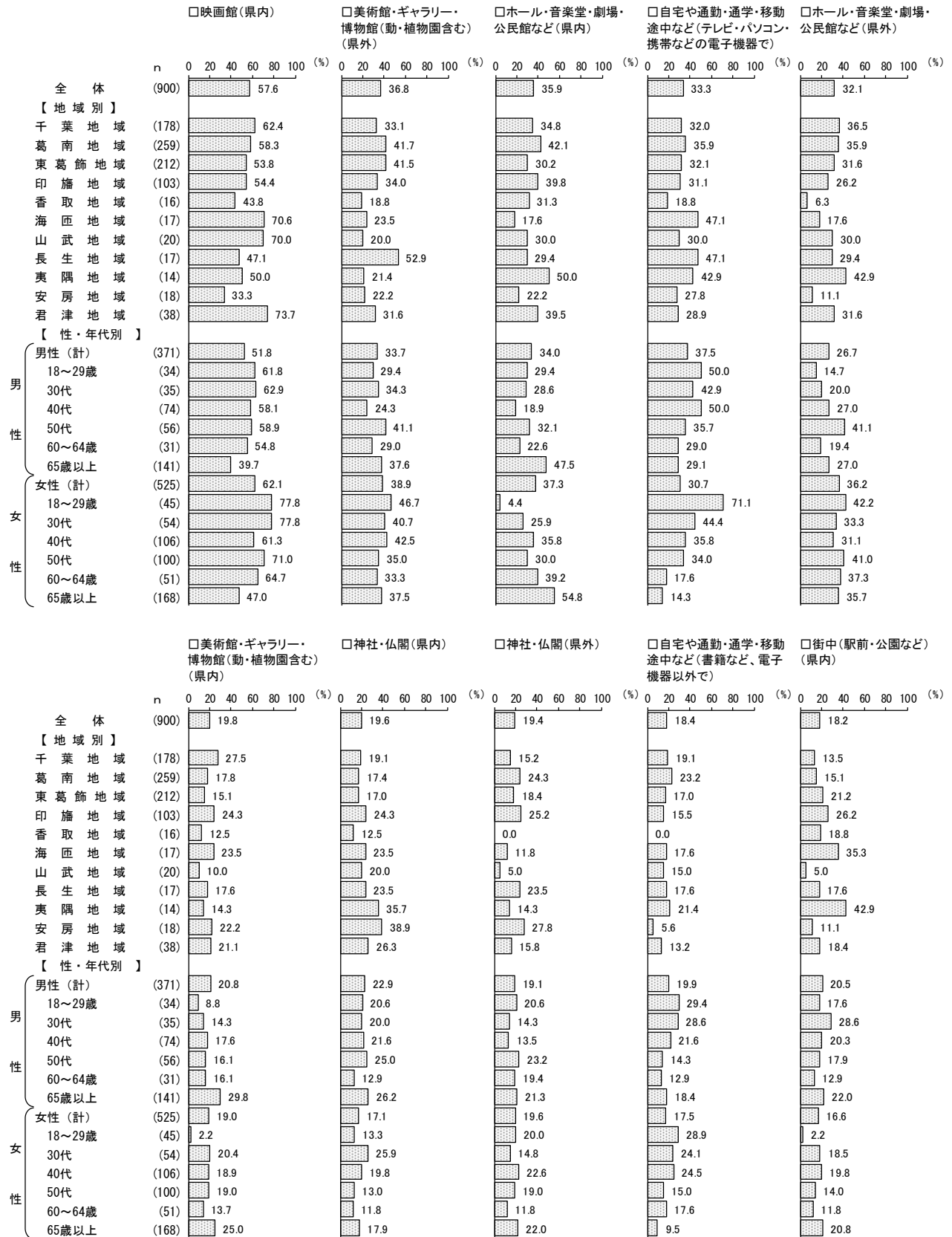
性・年代別でみると、「映画館（県内）」は、女性の18～29歳（77.8%）と30代（77.8%）で約8割、女性の50代（71.0%）で7割を超え、他の年代に比べ高くなっている。

「ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県内）」は、女性の65歳以上（54.8%）で5割台半ば、男性の65歳以上（47.5%）で約5割と、他の年代に比べ高くなっている。

「自宅や通勤・通学・移動途中など（テレビ・パソコン・携帯などの電子機器で）」は、女性の18～29歳（71.1%）で7割を超え、男性の18～29歳（50.0%）と40代（50.0%）で5割と、他の年代に比べ高くなっている。

（図表1－1－6）

<図表 I - 1 - 6>文化芸術を鑑賞（体験）した場所／地域別、性・年代別（上位10項目）



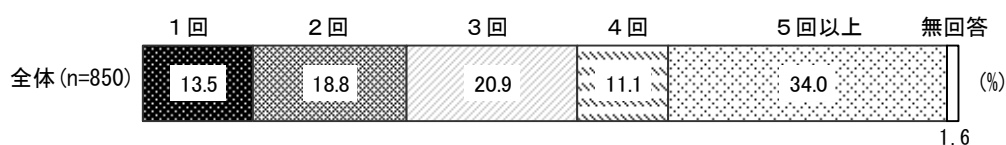
(4) 施設などの利用回数

◇『5回以上』が3割台半ばで最も高い

【問3で「1」～「10」「13」のいずれかに回答した方に】※問3で「1」～「10」「13」に回答がない方は問8へ

問4 あなたは昨年度、何回くらい映画館やホールなどの施設や催し物の会場を実際に訪れて、鑑賞（体験）しましたか。（〇は1つ）

<図表 I-1-7>施設などの利用回数



「昨年度に施設などで鑑賞（体験）した方」850人を対象に、利用回数を聞いたところ、「5回以上」（34.0%）が3割台半ばで最も高く、以下「3回」（20.9%）。「2回」（18.8%）となっている。（図表 I-1-7）

【地域別】

地域別にみると、「5回以上」は、“千葉地域”（41.4%）で4割を超え、他の地域に比べ高くなっている。

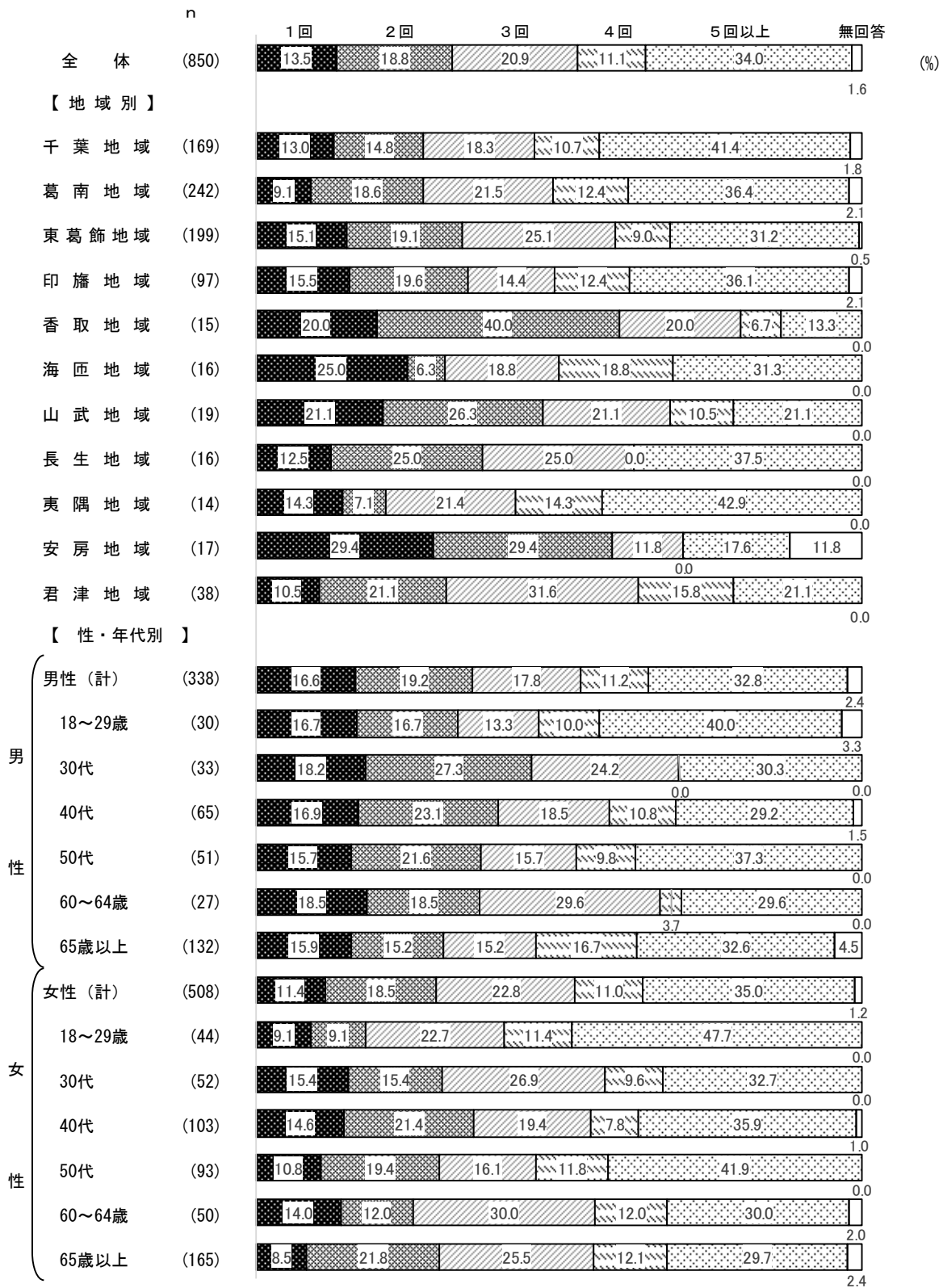
（図表 I-1-8）

【性・年代別】

性・年代別でみると、「5回以上」は、女性の18～29歳（47.7%）で約5割と、他の年代に比べ高くなっている。

（図表 I-1-8）

<図表 I - 1 - 8>施設などの利用回数／地域別、性・年代別



(5) 施設などの利用者の満足度

◇『満足できた』が9割を超える

【問3で「1」～「10」「13」のいずれかに回答した方に】※問3で「1」～「10」「13」に回答がない方は問8へ

問5 あなたは昨年度、施設などで得た文化芸術の鑑賞（体験）に満足できましたか。（〇は1つ）

<図表 I-1-9>施設などの利用者の満足度



「昨年度に施設などで鑑賞（体験）した方」850人を対象に、満足できたかを聞いたところ、「満足できた」（93.1%）が9割を超えている。

一方で「満足できなかった」は5.3%に留まる。

(表 I-1-9)

【地域別】

地域別にみると、「満足できた」は、「香取地域」（100.0%）で10割となっている。

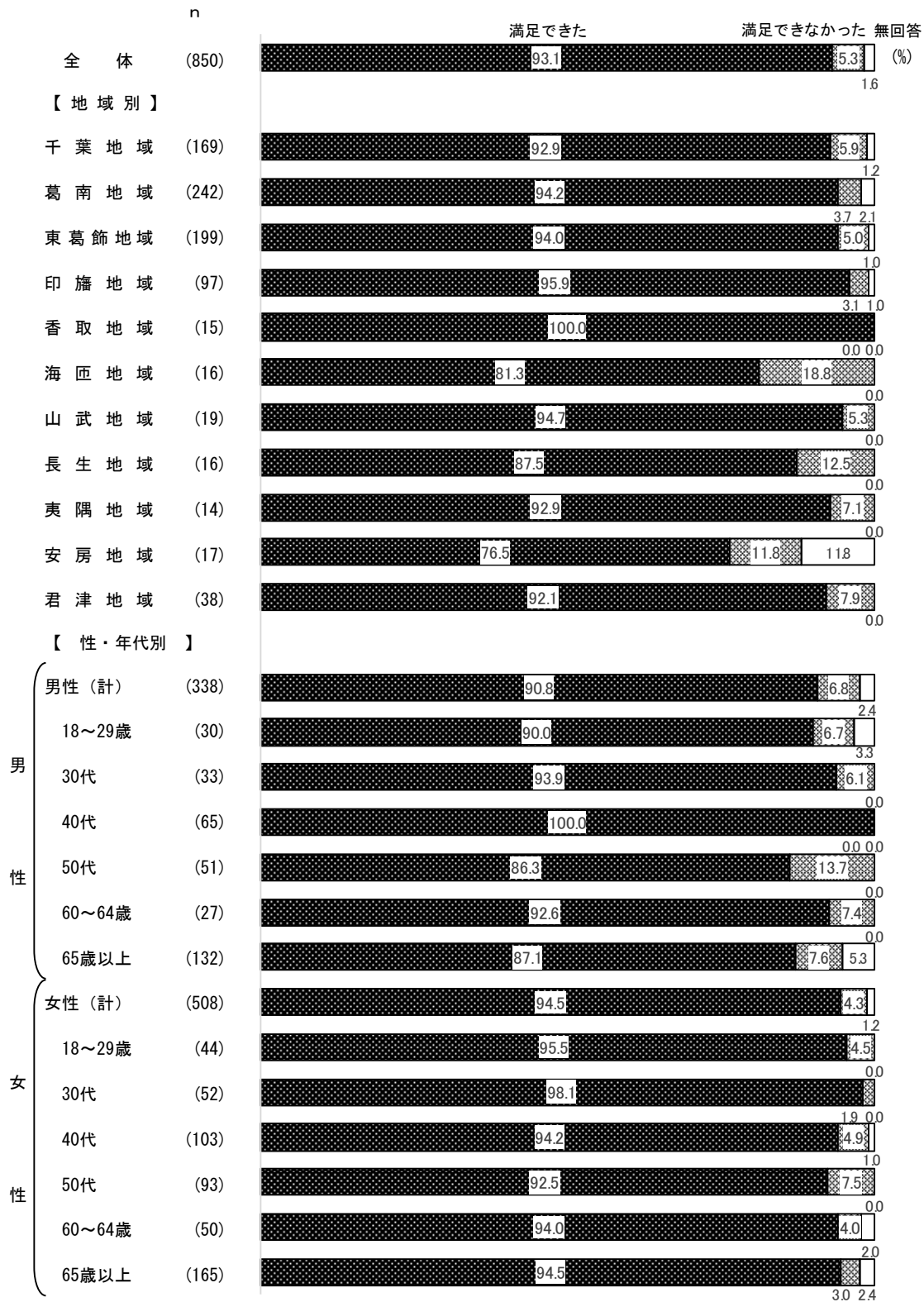
(図表 I-1-10)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「満足できた」は、男性の40代（100.0%）で10割となっている。

(図表 I-1-10)

<図表 I - 1 - 10>施設などの利用者の満足度／地域別、性・年代別



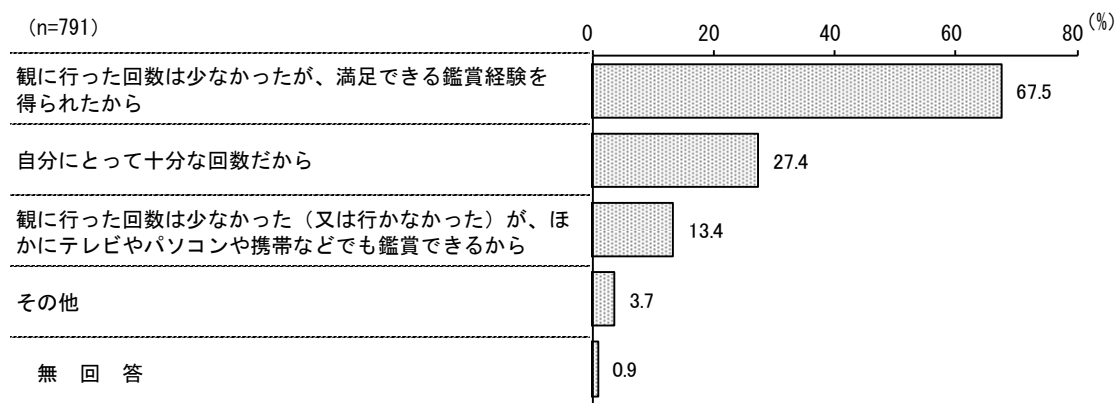
(6) 施設などの利用者の「満足できた」理由

◇『観に行った回数は少なかったが、満足できる鑑賞経験を得られたから』が約7割で最も高い

【問5で「1. 満足できた」と回答した方に】

問6 鑑賞（体験）に「満足できた」とお答えになった理由はなんですか。（〇はいくつでも）

＜図表 I - 1 - 11＞施設などの利用者の「満足できた」理由



「『満足できた』とした方」791人を対象に、その理由を聞いたところ、「観に行った回数は少なかったが、満足できる鑑賞経験を得られたから」（67.5%）が約7割で最も高く、以下「自分にとって十分な回数だから」（27.4%）となっている。（図表 I - 1 - 11）

【地域別】

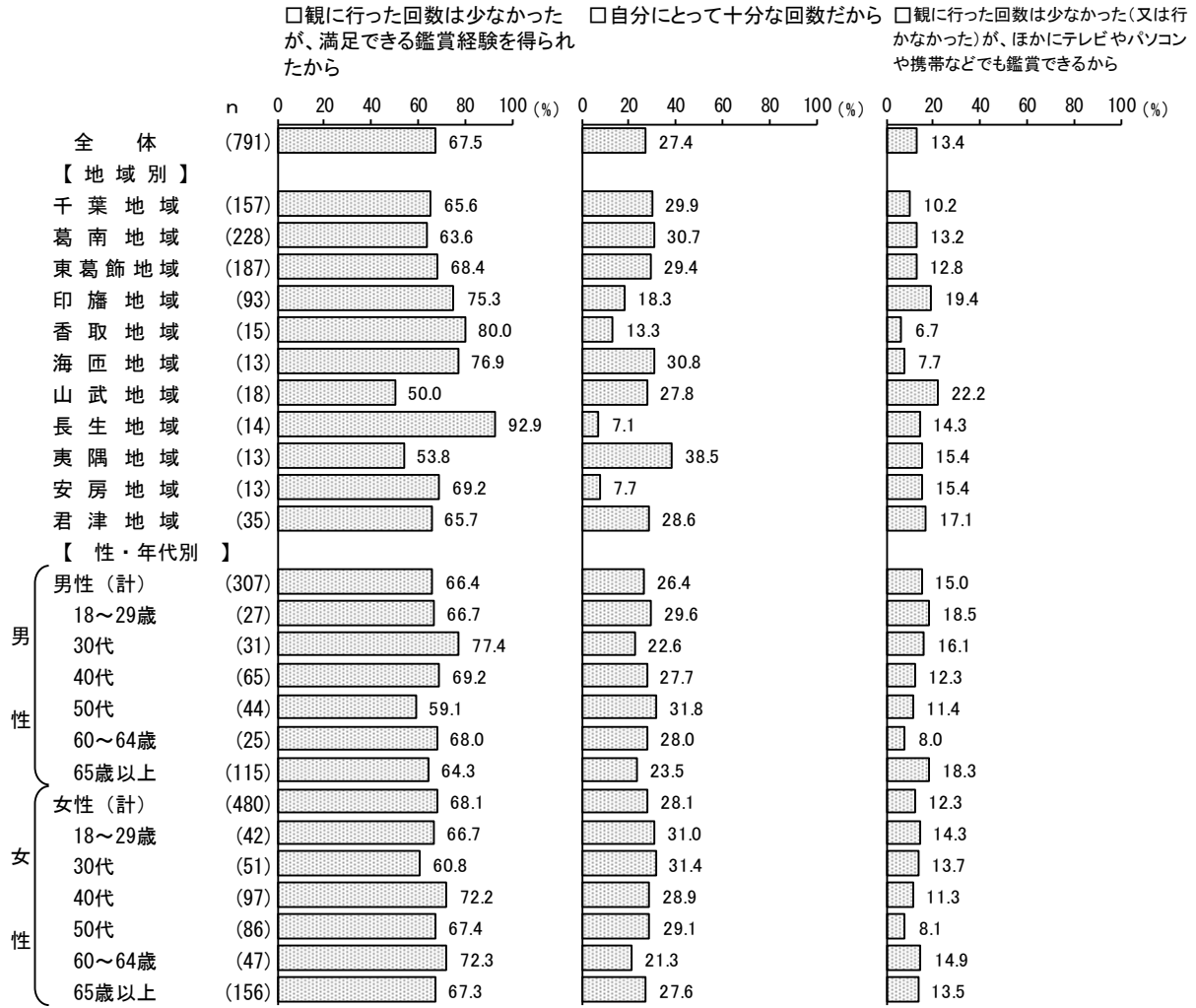
地域別にみると、「観に行った回数は少なかったが、満足できる鑑賞経験を得られたから」は、“長生地域”（92.9%）で9割を超え、他の地域に比べ高くなっている。

（図表 I - 1 - 12）

【性・年代別】

性・年代別で特に大きな違いは見られない。（図表 I - 1 - 12）

<図表 I - 1 - 12>施設などの利用者の「満足できた」理由／地域別、性・年代別



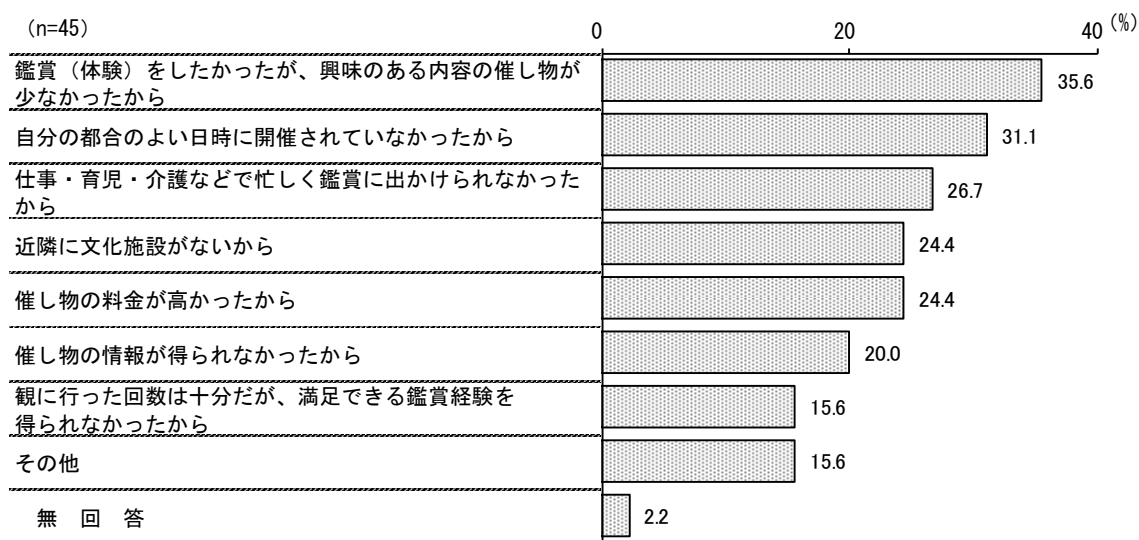
(7) 施設などの利用者の「満足できなかった」理由

◇『鑑賞（体験）をしたかったが、興味のある内容の催し物が少なかったから』が3割台半ばで最も高い

【問5で「2. 満足できなかった」と回答した方に】

問7 十分な鑑賞（体験）ができなかった理由はなんですか。（〇はいくつでも）

<図表 I - 1 - 13>施設などの利用者の「満足できなかった」理由



「『満足できなかった』とした方」45人を対象に、十分な鑑賞（体験）ができなかった理由を聞いたところ、「鑑賞（体験）をしたかったが、興味のある内容の催し物が少なかったから」（35.6%）が3割台半ばで最も高く、以下「自分の都合のよい日時に開催されていなかったから」（31.1%）、「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞に出かけられなかったから」（26.7%）、「近隣に文化施設がないから」（24.4%）、「催し物の料金が高かったから」（24.4%）となっている。

(図表 I - 1 - 13)

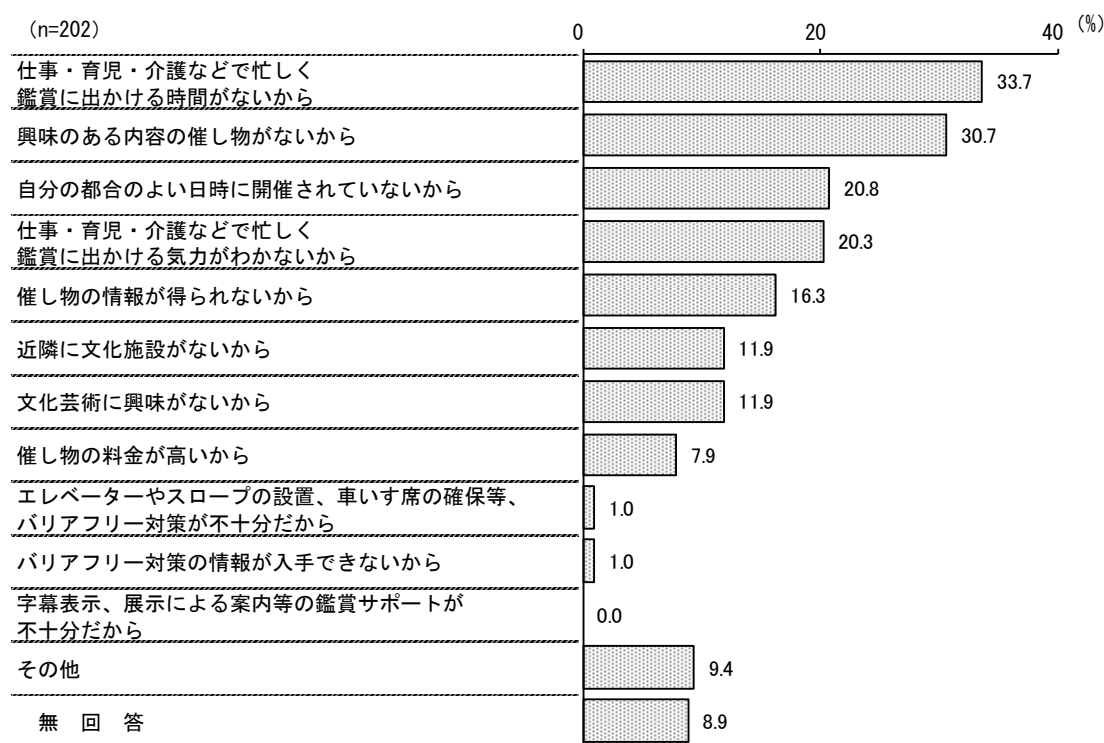
(8) 施設などで文化芸術を鑑賞（体験）しなかった理由

◇『仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞に出かける時間がないから』が3割台半ばと最も高い

【問1で「23. 鑑賞しなかった」に回答した方に】または【問3で「1」～「10」「13」に回答がない方に】

問8 あなたが昨年度、施設などで文化芸術を鑑賞（体験）しなかった理由はなんですか。
（○は3つまで）

＜図表 I - 1 - 14＞施設などで文化芸術を鑑賞（体験）しなかった理由



「昨年度に施設などで鑑賞（体験）しなかった方」202人を対象に、その理由を聞いたところ、「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞に出かける時間がないから」（33.7%）が3割台半ばと最も高く、以下「興味のある内容の催し物がないから」（30.7%）、「自分の都合のよい日時に開催されていないから」（20.8%）、「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞に出かける気力がわからないから」（20.3%）となっている。（図表 I - 1 - 14）

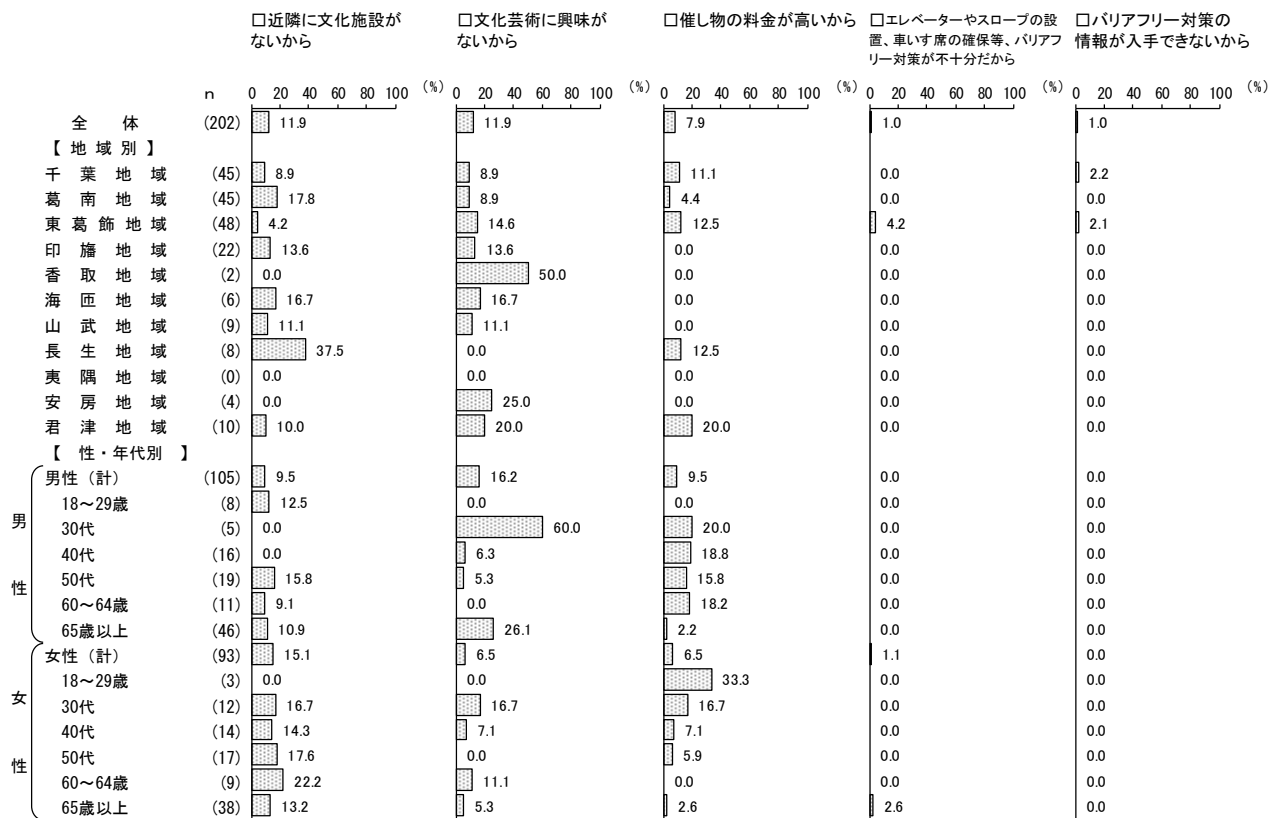
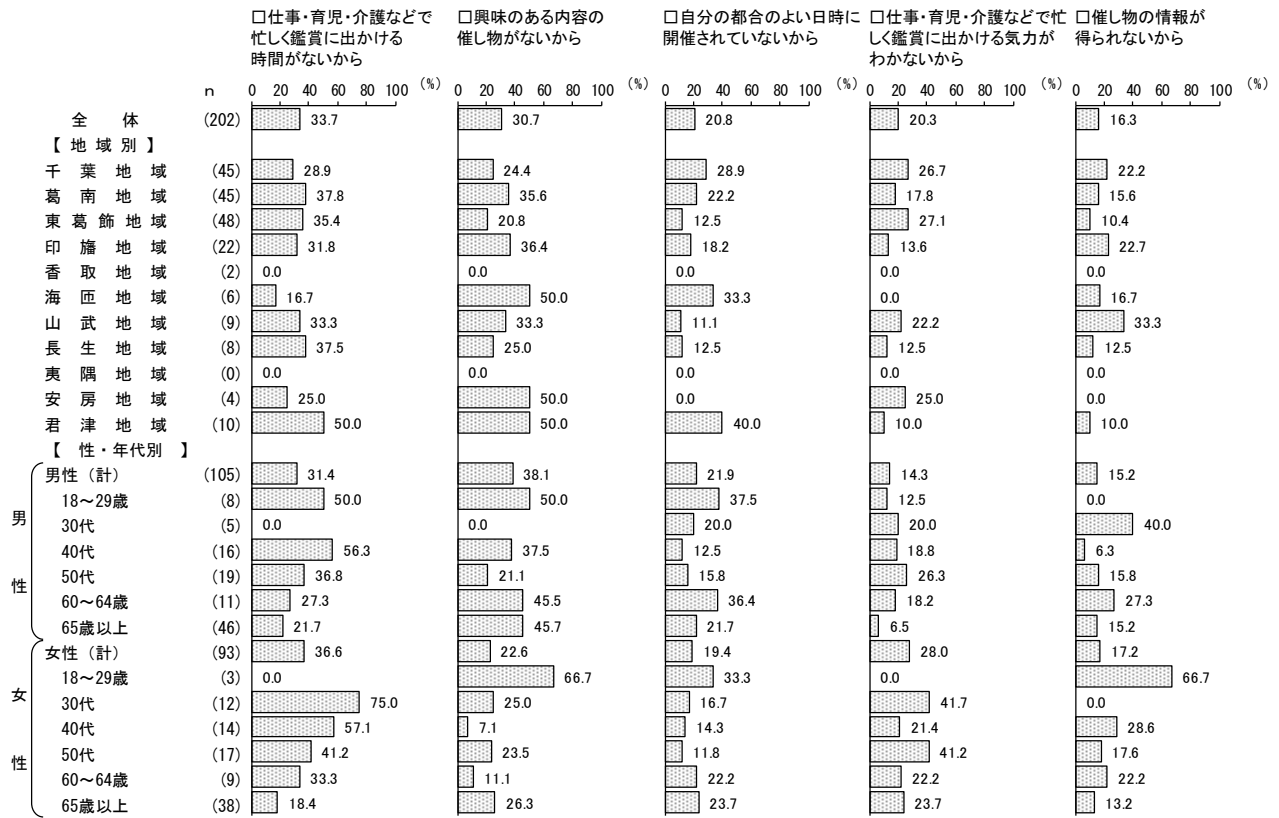
【地域別】

地域別で特に大きな違いは見られない。（図表 I - 1 - 15）

【性・年代別】

性別で見ると、「興味のある内容の催し物がないから」は、男性（計）（38.1%）で約4割と、女性（計）（22.6%）に比べ高くなっている。（図表 I - 1 - 15）

<図表 I - 1 - 15>施設などで文化芸術を鑑賞（体験）しなかった理由／地域別、性・年代別（上位10項目）



2. 自分自身の参加・出演について

(1) 文化芸術活動を行うことへの興味・関心

◇『興味・関心がある』は約5割

問9 あなたは、文化芸術活動を行うことに興味・関心がありますか。(○は1つ)

※「文化芸術活動を行う」とは、自ら絵画を描いたり楽器を演奏するような形態での関りを指し、もっぱら鑑賞することのみの場合は該当しません。

<図表 I - 2 - 1>文化芸術活動を行うことへの興味・関心



文化芸術活動を行うことへの興味・関心を聞いたところ、「興味・関心がある」(49.0%)が約5割である。一方で「興味・関心がない」(46.4%)も4割台半ばとなっている。

(図表 I - 2 - 1)

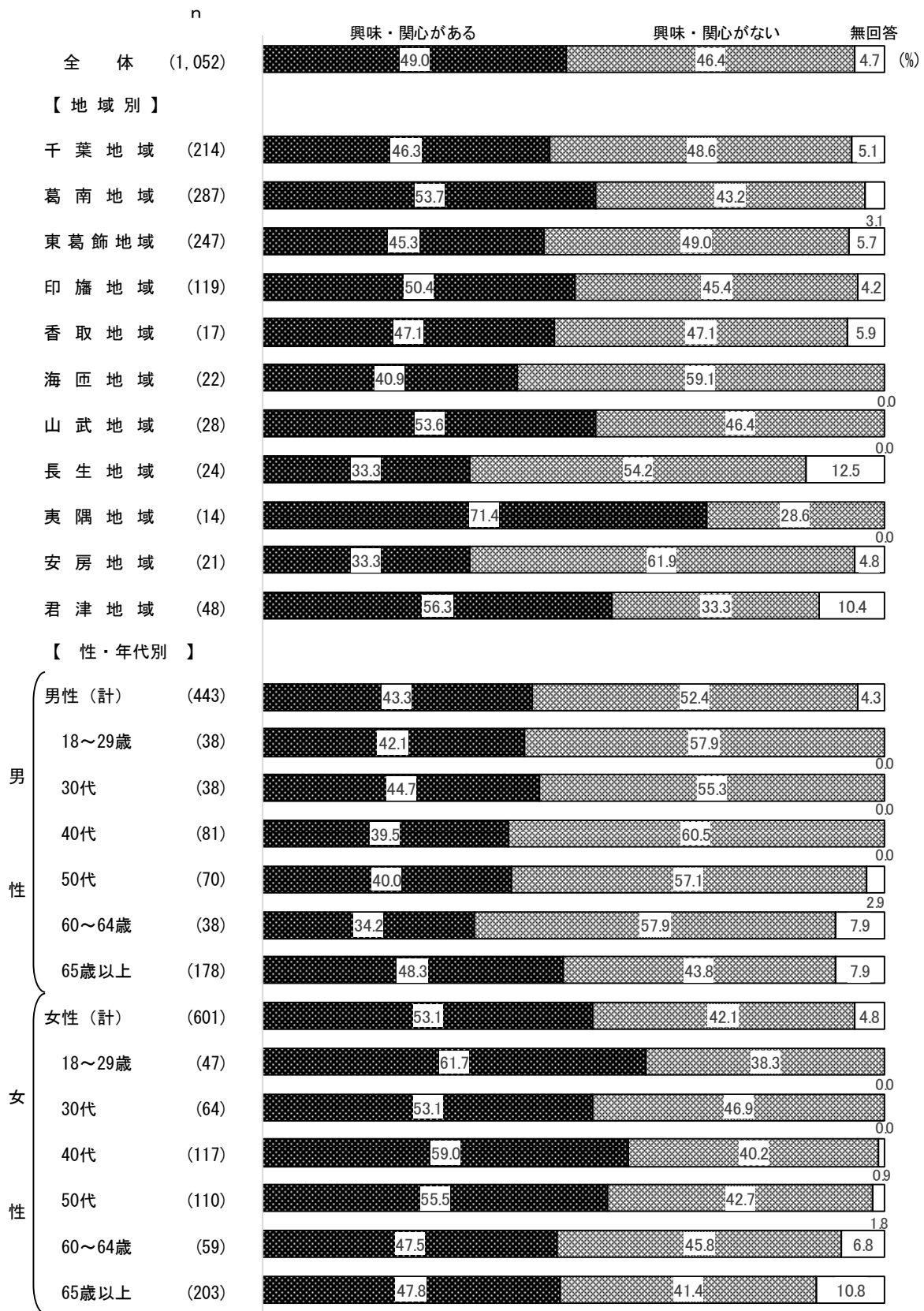
【地域別】

地域別で特に大きな違いは見られない。(図表 I - 2 - 2)

【性・年代別】

性別で見ると、「興味・関心がある」は、女性(計)(53.1%)で5割を超え、男性(計)(43.3%)に比べ高くなっている。(図表 I - 2 - 2)

<図表 I - 2 - 2>文化芸術活動を行うことへの興味・関心／地域別、性・年代別



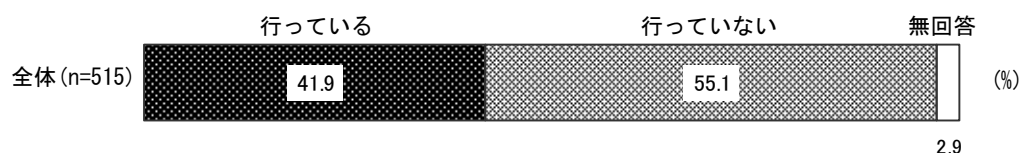
(2) 文化芸術活動の継続的実施の有無

◇『行っている』が4割を超える

【問9で「1. ある」と回答した方に】

問10 あなたは、継続的に何らかの文化芸術活動を行っていますか。（○は1つ）

<図表 I - 2 - 3>文化芸術活動の継続的実施の有無



「文化芸術活動を行うことに『興味・関心がある』とした方」515人を対象に、継続的に何らかの文化芸術活動を行っているかを聞いたところ、「行っている」（41.9%）が4割を超えている。一方で、「行っていない」（55.1%）は5割台半ばとなっている。（図表 I - 2 - 3）

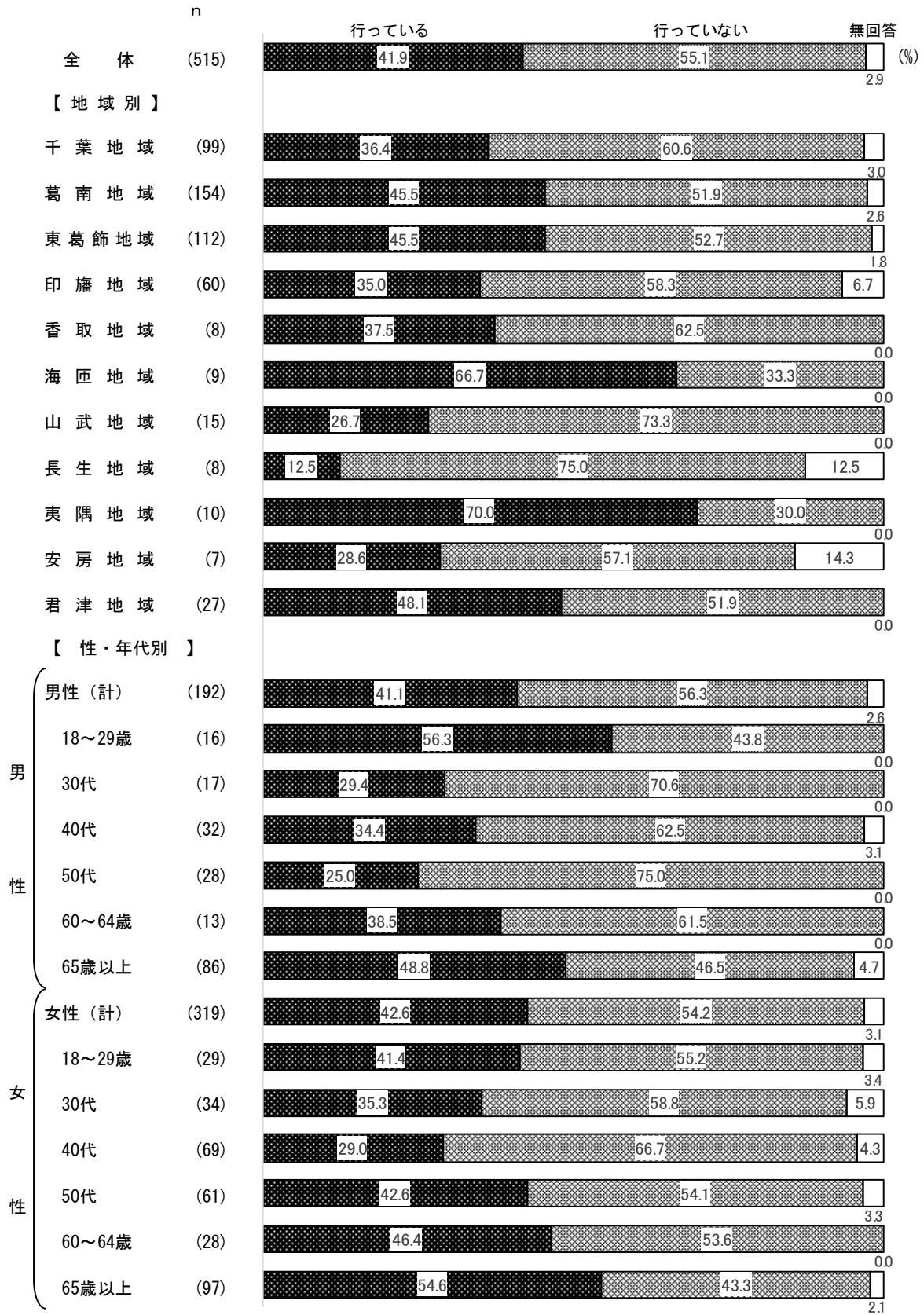
【地域別】

地域別で特に大きな違いは見られない。（図表 I - 2 - 4）

【性・年代別】

性・年代別でみると、「行っている」は、女性の65歳以上（54.6%）で5割台半ばと、他の年代に比べ高くなっている。（図表 I - 2 - 4）

<図表 I - 2 - 4 > 文化芸術活動の継続的实施の有無／地域別、性・年代別



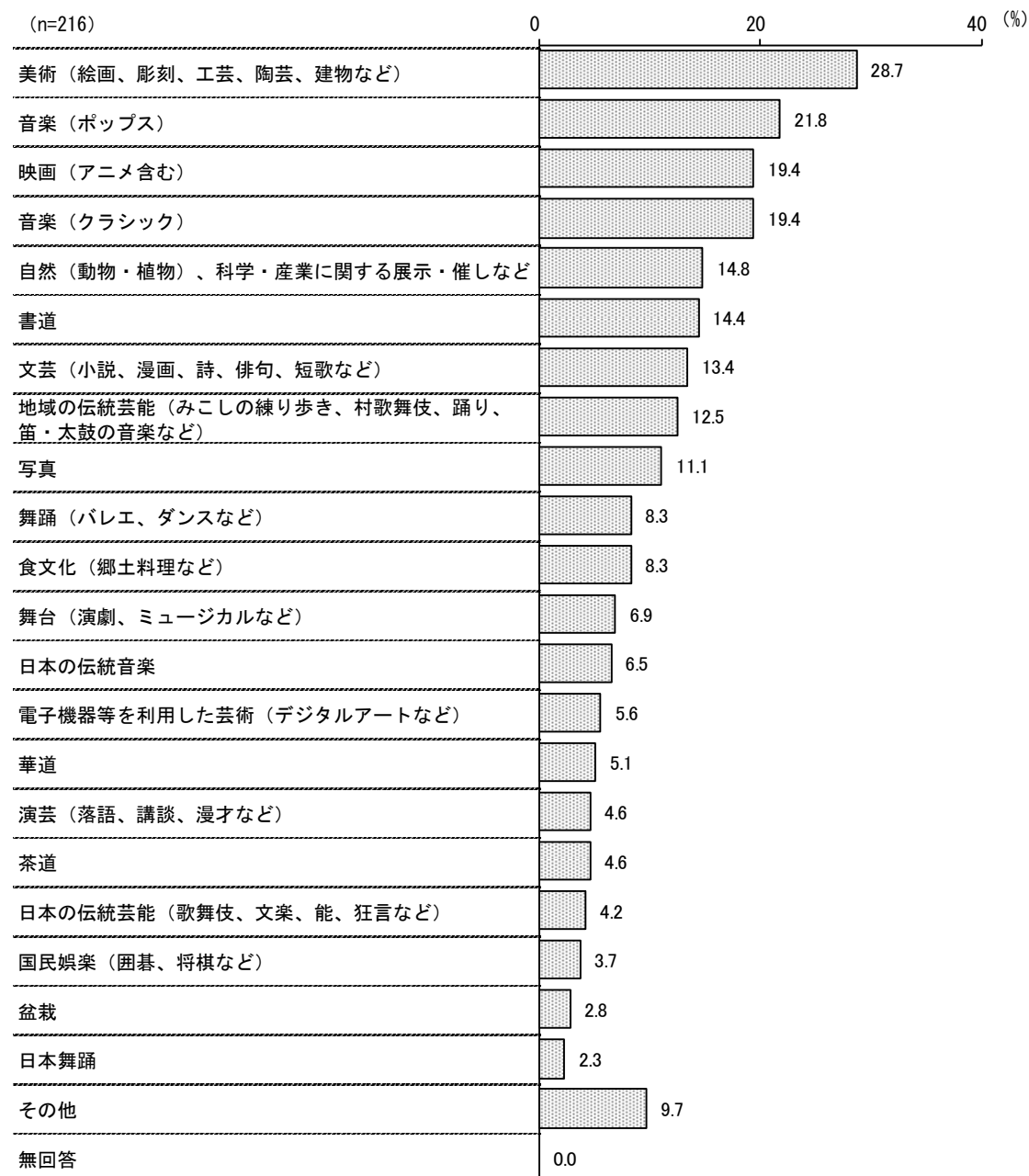
(3) 継続的に実施しているジャンル

◇『美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など）』が約3割で最も高い

【問10で「1. 行っている」と回答した方に】

問11 あなたが行っている文化芸術活動のジャンルはなんですか。（〇はいくつでも）

<図表 I - 2 - 5> 継続的に実施しているジャンル



「文化芸術活動を継続的に実施しているとした方」216人を対象に、行っているジャンルを聞いたところ、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など）」（28.7%）が約3割で最も高く、以下「音楽（ポップス）」（21.8%）、「映画（アニメ含む）」（19.4%）、「音楽（クラシック）」（19.4%）となっている。（図表 I - 2 - 5）

【地域別】

地域別にみると、「書道」は、“東葛飾地域”（23.5%）で2割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。（図表 I - 2 - 6）

【性・年代別】

性・年代別で見ると、「自然（動物・植物）、科学・産業に関する展示・催しなど」は、男性（計）（22.8%）で2割を超え、女性（計）（10.3%）に比べ高くなっている。（図表 I - 2 - 6）

「写真」は、男性（計）（20.3%）で2割と、女性（計）（5.9%）に比べ高くなっている。
（図表 I - 2 - 6）

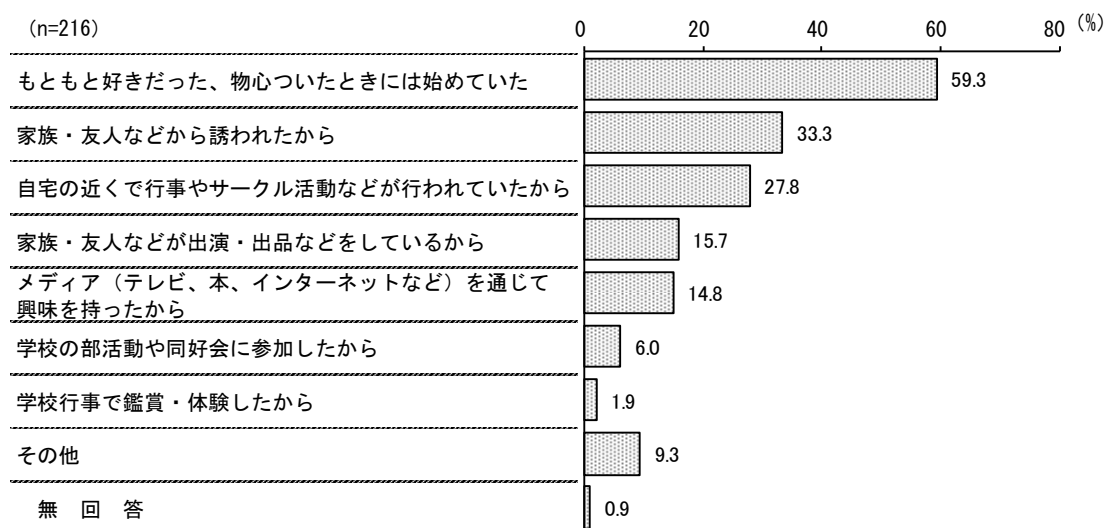
(4) 文化芸術活動を始めた理由

◇『もともと好きだった、物心ついたときには始めていた』が約6割で最も高い

【問10で「1. 行っている」と回答した方に】

問12 問11で回答した文化芸術活動を始めた理由はなんですか。（〇はいくつでも）

<図表 I - 2 - 7>文化芸術活動を始めた理由



「文化芸術活動を継続的に実施しているとした方」216人を対象に、文化芸術活動を始めた理由を聞いたところ、「もともと好きだった、物心ついたときには始めていた」（59.3%）が約6割で最も高く、以下「家族・友人などから誘われたから」（33.3%）、「自宅の近くで行事やサークル活動などが行われていたから」（27.8%）となっている。（図表 I - 2 - 7）

【地域別】

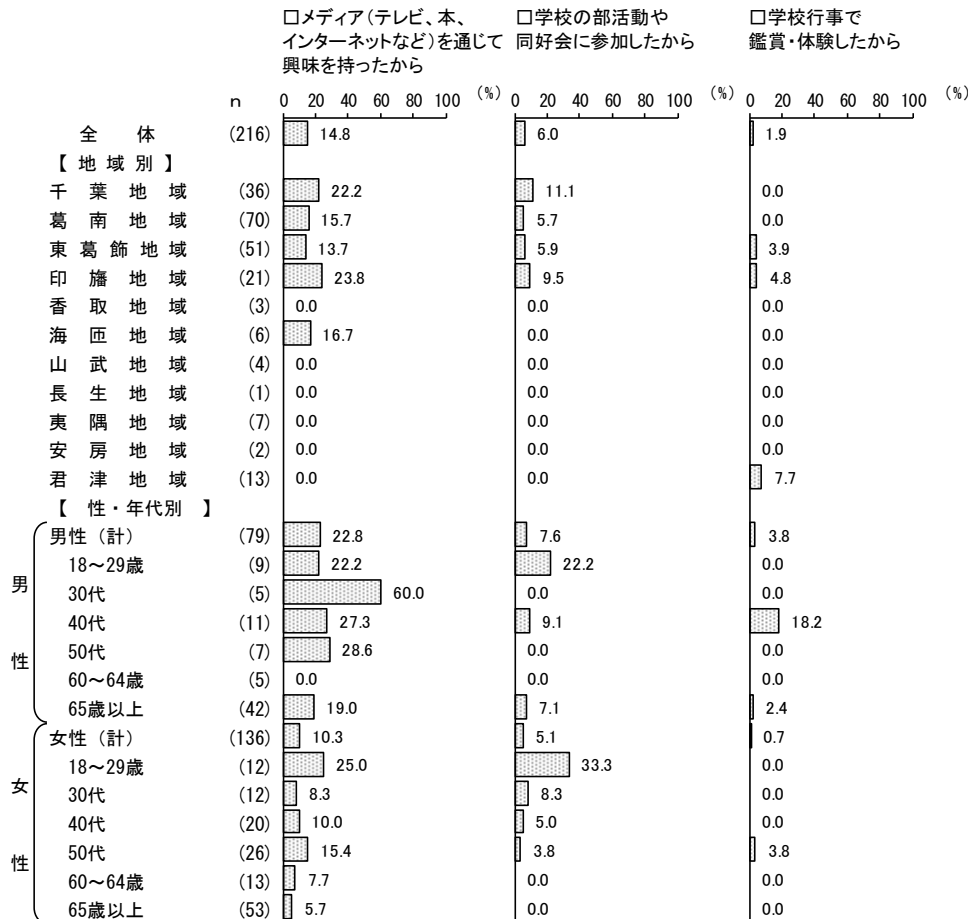
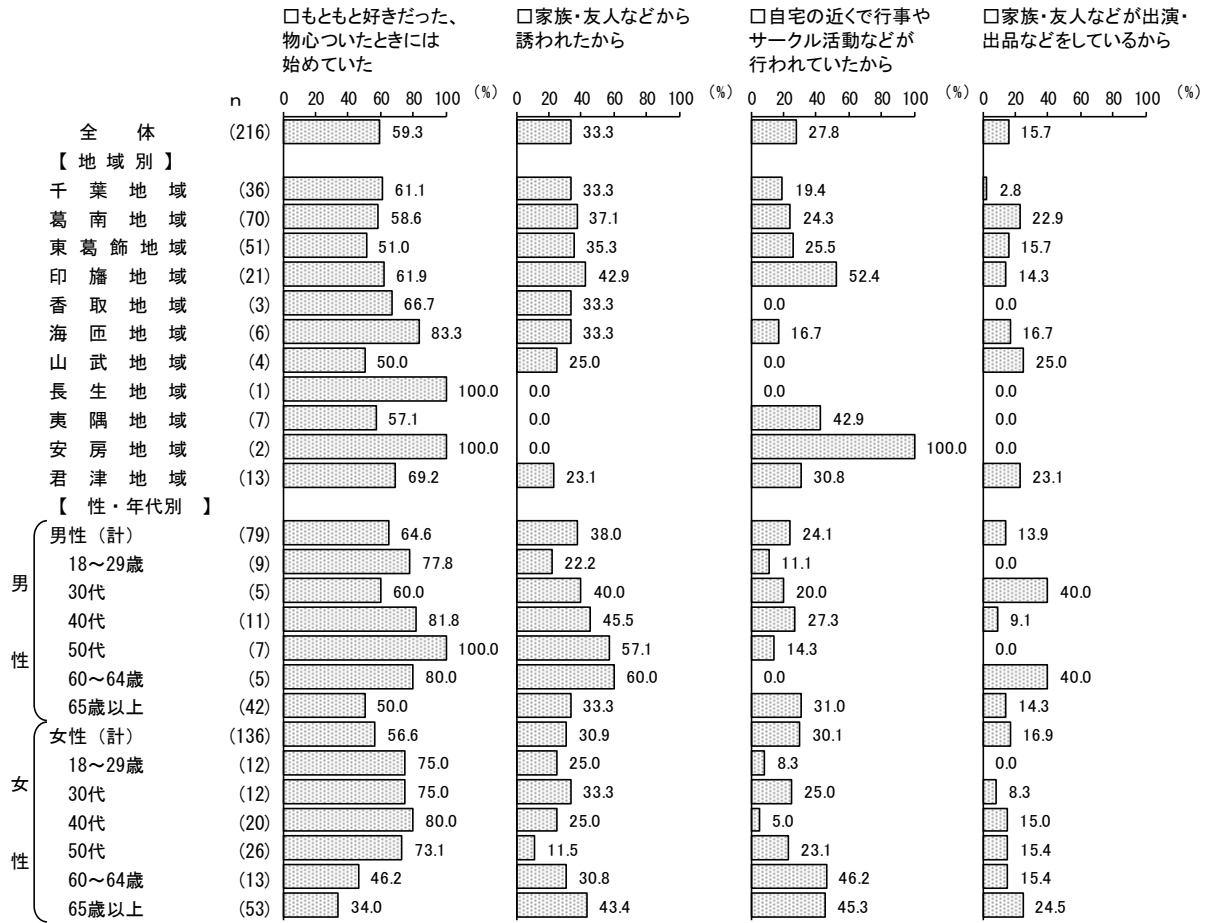
地域別にみると、「自宅の近くで行事やサークル活動などが行われていたから」は、“印旛地域”（52.4%）で5割を超え、他の地域に比べ高くなっている。

（図表 I - 2 - 8）

【性・年代別】

性・年代別でみると、「自宅の近くで行事やサークル活動などが行われていたから」は、女性の65歳以上（45.3%）で4割台半ばと、他の年代に比べ高くなっている。（図表 I - 2 - 8）

<図表 I - 2 - 8>文化芸術活動を始めた理由／地域別、性・年代別



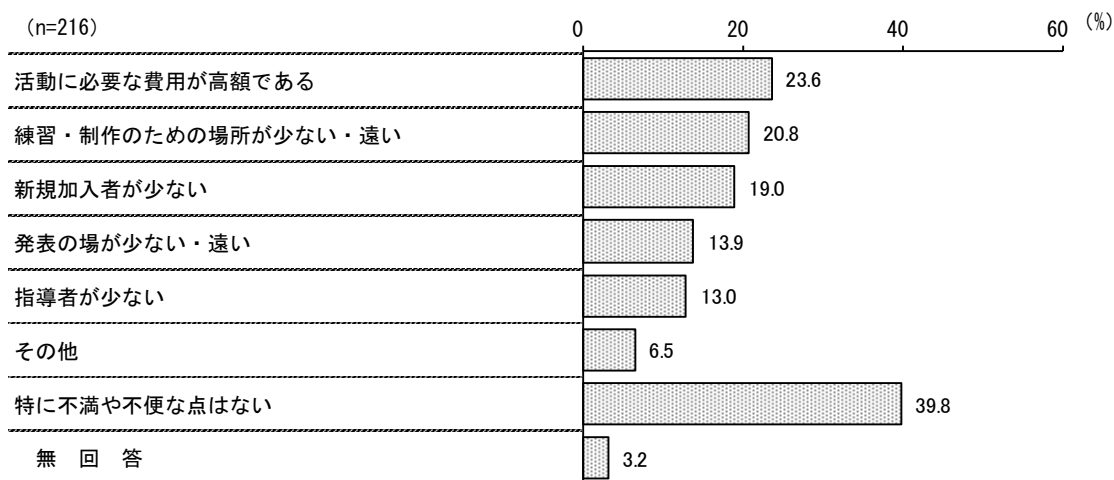
(5) 文化芸術活動を行う際の不満や不便な点

◇「特に不満や不便な点はない」を除くと、『活動に必要な費用が高額である』が2割台半ばと最も高い

【問10で「1. 行っている」と回答した方に】

問13 問11で回答した文化芸術活動を行う際の不満や不便な点がありますか。(〇はいくつでも)

<図表 I - 2 - 9>文化芸術活動を行う際の不満や不便な点



「文化芸術活動を継続的に実施しているとした方」216人を対象に、文化芸術活動を行う際の不満や不便な点を聞いたところ、「活動に必要な費用が高額である」(23.6%)が2割台半ばで最も高く、以下「練習・制作のための場所が少ない・遠い」(20.8%)、「新規加入者が少ない」(19.0%)となっている。

一方で「特に不満や不便な点はない」(39.8%)が約4割となっている。

(図表 I - 2 - 9)

【地域別】

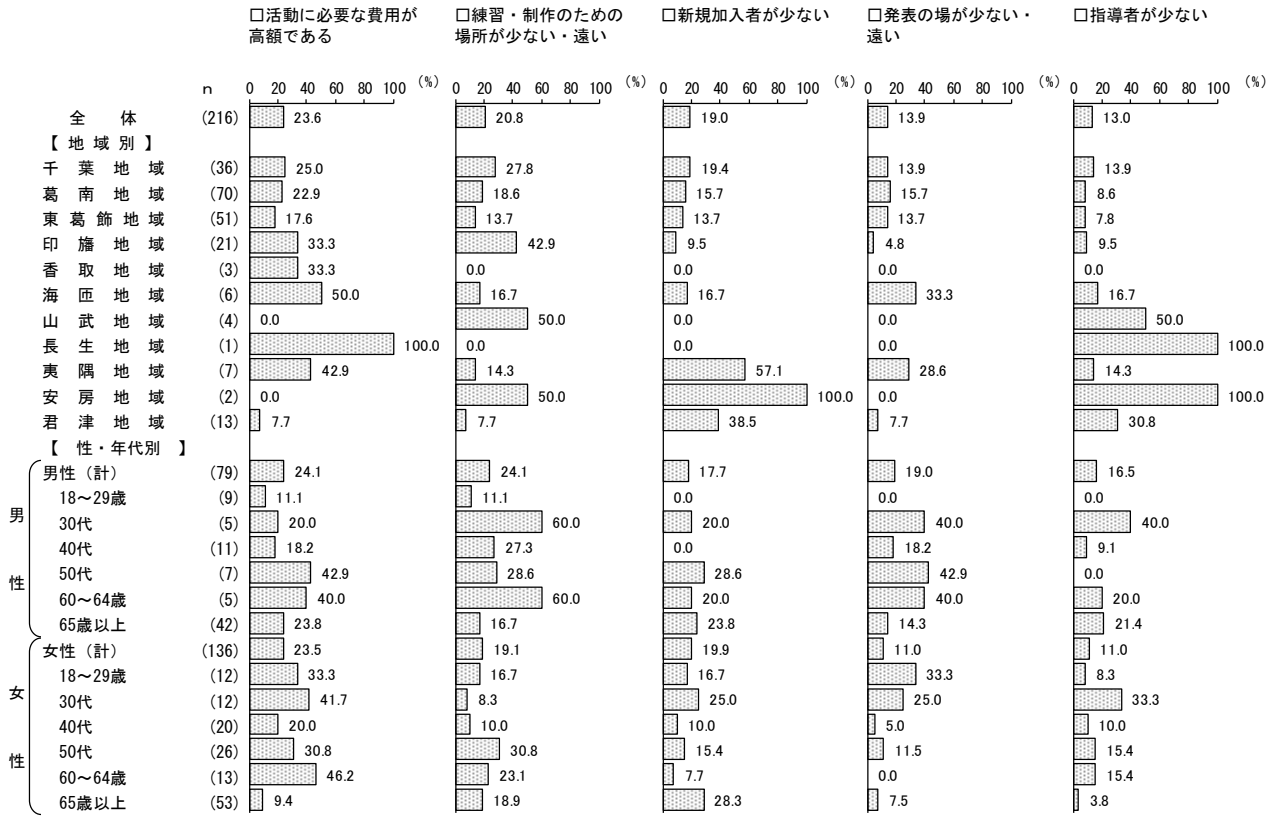
地域別にみると、「練習・制作のための場所が少ない・遠い」は、「印旛地域」(42.9%)で4割を超え、他の地域に比べ高くなっている。

(図表 I - 2 - 10)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「活動に必要な費用が高額である」は、女性の65歳以上(9.4%)で約1割と他の年代に比べ低くなっている。(図表 I - 2 - 10)

<図表 I - 2 - 10>文化芸術活動を行う際の不満や不便な点／地域別、性・年代別

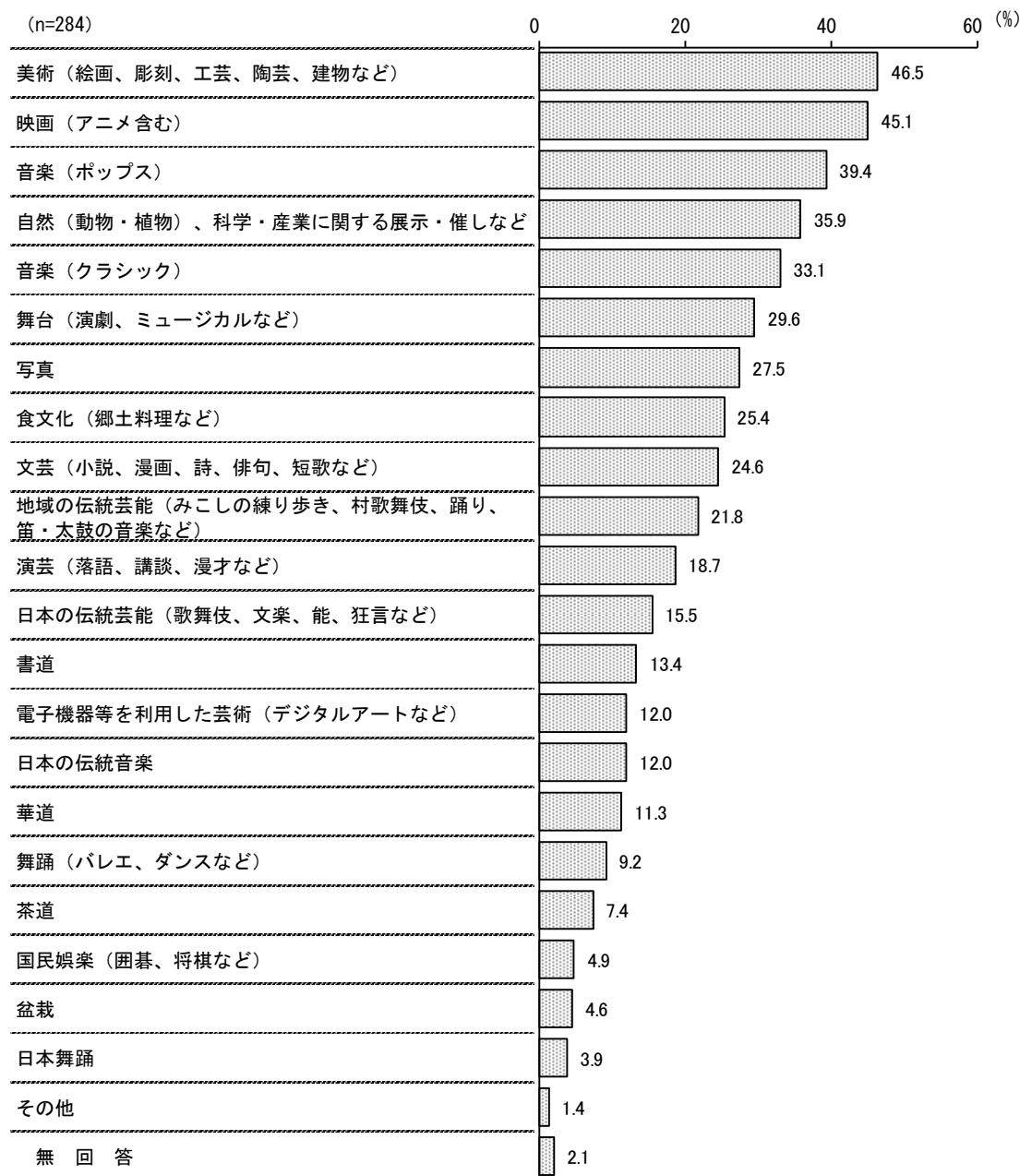


(6) 文化芸術活動を実施していない方の興味・関心があるジャンル

◇『美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など）』が4割台半ばで最も高い

【問9で「1. 興味・関心がある」と回答し、問10で「2. 行っていない」と回答した方に】
問14 あなたが興味・関心がある文化芸術活動のジャンルはなんですか。（〇はいくつでも）

<図表 I - 2 - 11>文化芸術活動を実施していない方の興味・関心があるジャンル



「文化芸術活動に興味・関心があるが継続的に実施していないとした方」284人を対象に、興味・関心があるジャンルを聞いたところ、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など）」（46.5%）が4割台半ばで最も高く、以下「映画（アニメ含む）」（45.1%）、「音楽（ポップス）」（39.4%）、「自然（動物・植物）、科学・産業に関する展示・催しなど」（35.9%）となっている。

(図表 I - 2 - 11)

【地域別】

地域別にみると、「音楽（ポップス）」は、“千葉地域”（61.7%）で6割を超え、他の地域に比べ高くなっている。

「舞台（演劇、ミュージカルなど）」は、“千葉地域”（45.0%）で4割台半ばと、他の地域に比べ高くなっている。

（図表 I - 2 - 12）

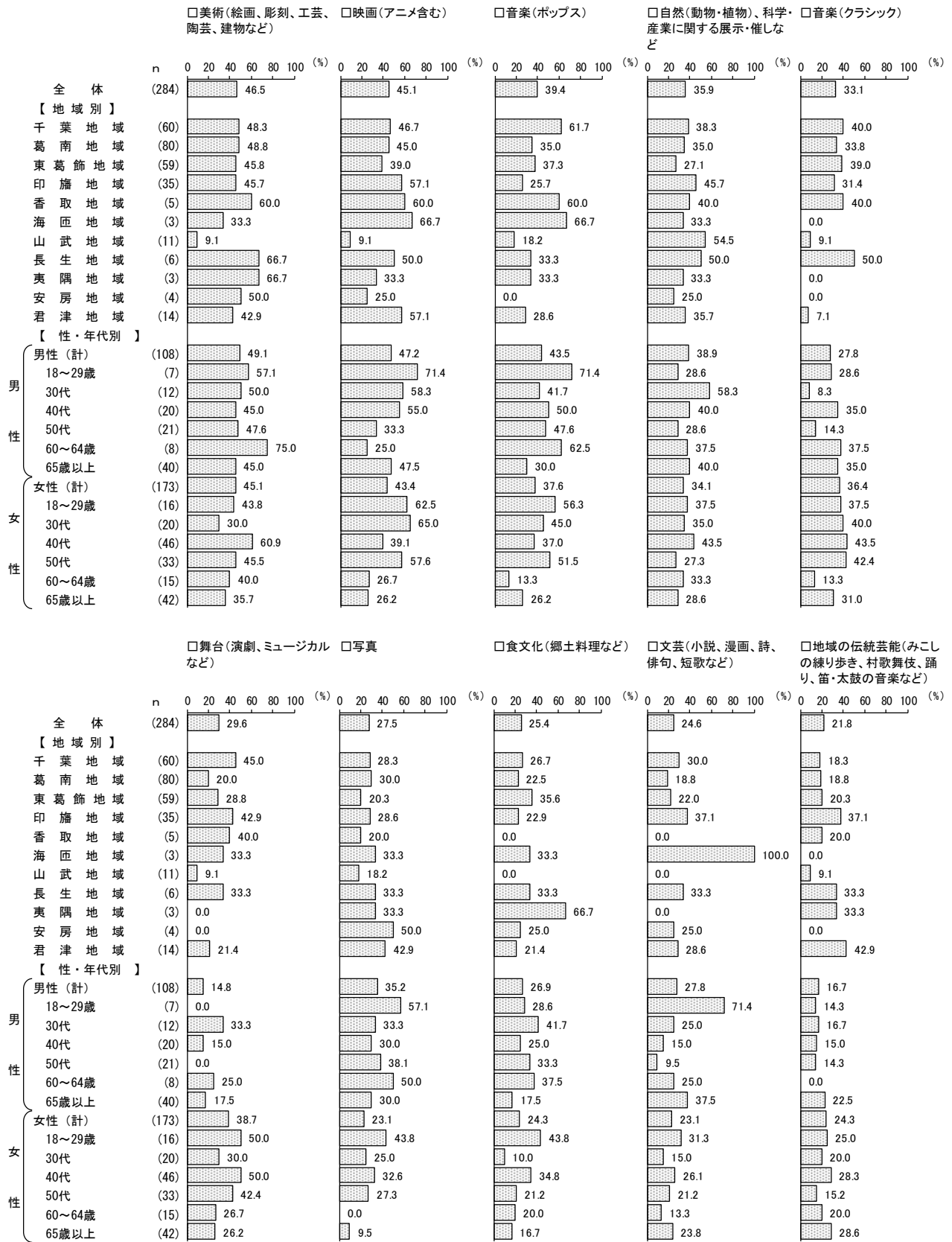
【性・年代別】

性・年代別でみると、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など）」は、女性の40代（60.9%）で6割と、他の年代に比べ高くなっている。

「舞台（演劇、ミュージカルなど）」は、女性の40代（50.0%）で5割と、他の年代に比べ高くなっている。

（図表 I - 2 - 12）

<図表 I - 2 - 12>文化芸術活動を実施していない方の興味・関心があるジャンル／地域別、性・年代別（上位10項目）

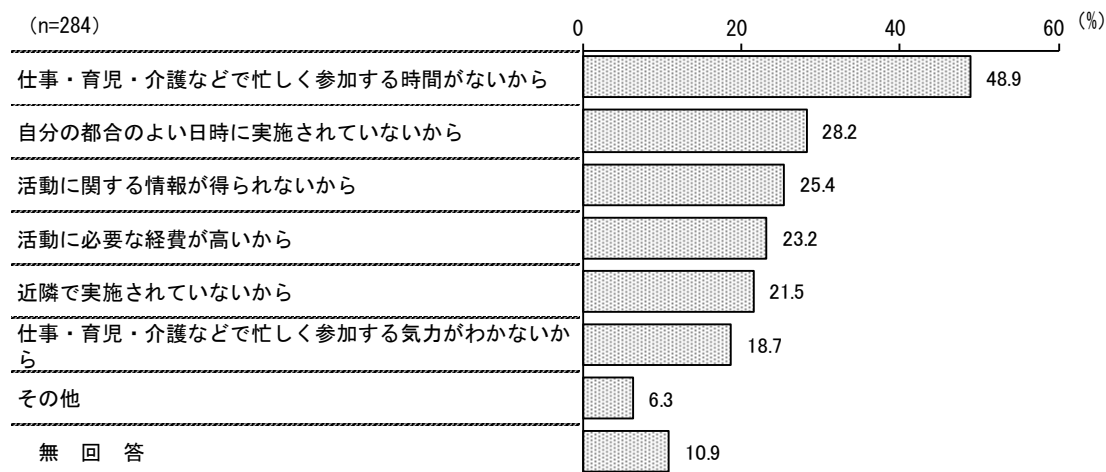


(7) 文化芸術活動を行っていない理由

◇『仕事・育児・介護などで忙しく参加する時間がないから』が約5割で最も高い

【問9で「1. 興味・関心がある」と回答し、問10で「2. 行っていない」と回答した方に】
問15 興味・関心があるが文化芸術活動を行っていない理由はなんですか。(〇は3つまで)

<図表 I - 2 - 13>文化芸術活動を行っていない理由



「文化芸術活動に興味・関心があるが継続的に実施していないとした方」284人を対象に、行っていない理由を聞いたところ、「仕事・育児・介護などで忙しく参加する時間がないから」(48.9%)が約5割で最も高く、以下「自分の都合のよい日時に実施されていないから」(28.2%)、「活動に関する情報が得られないから」(25.4%)、「活動に必要な経費が高いから」(23.2%)となっている。(図表 I - 2 - 13)

【地域別】

地域別にみると、「仕事・育児・介護などで忙しく参加する気力がわからないから」は、“東葛飾地域”(30.5%)で3割と、他の地域に比べ高くなっている。

(図表 I - 2 - 14)

【性・年代別】

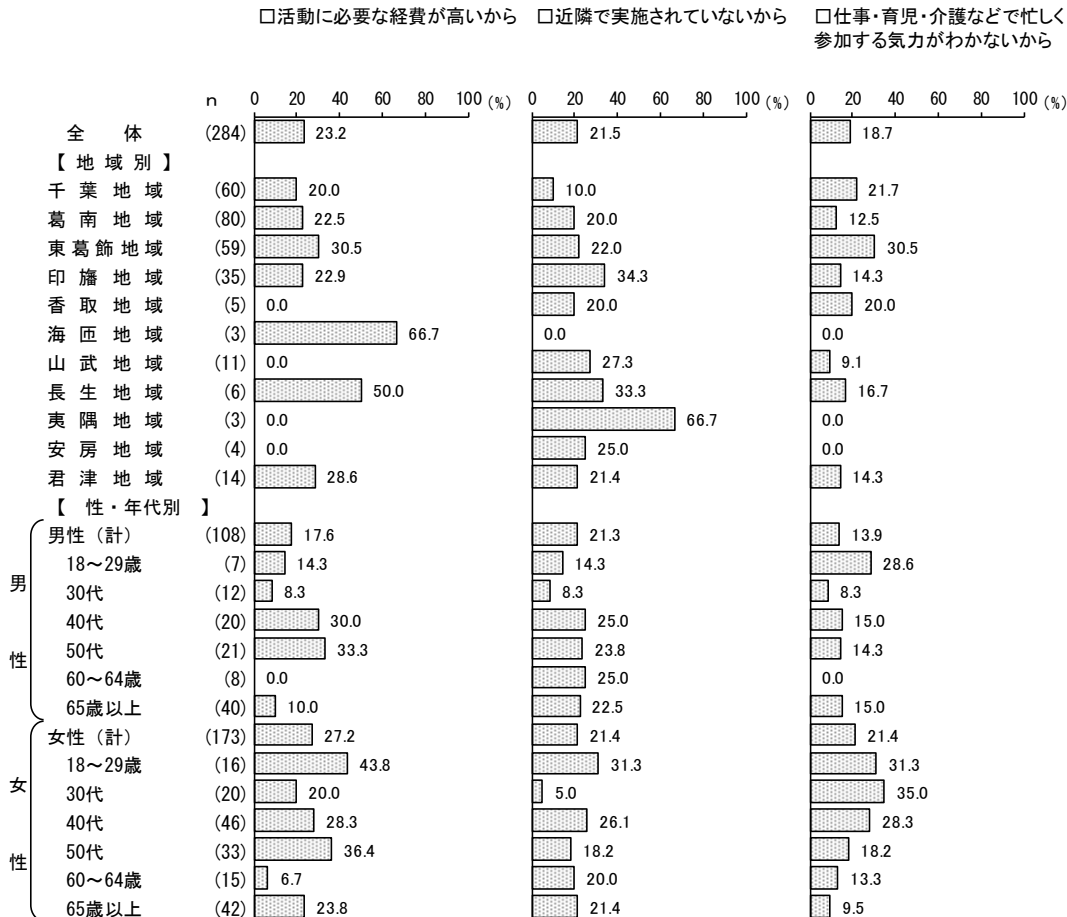
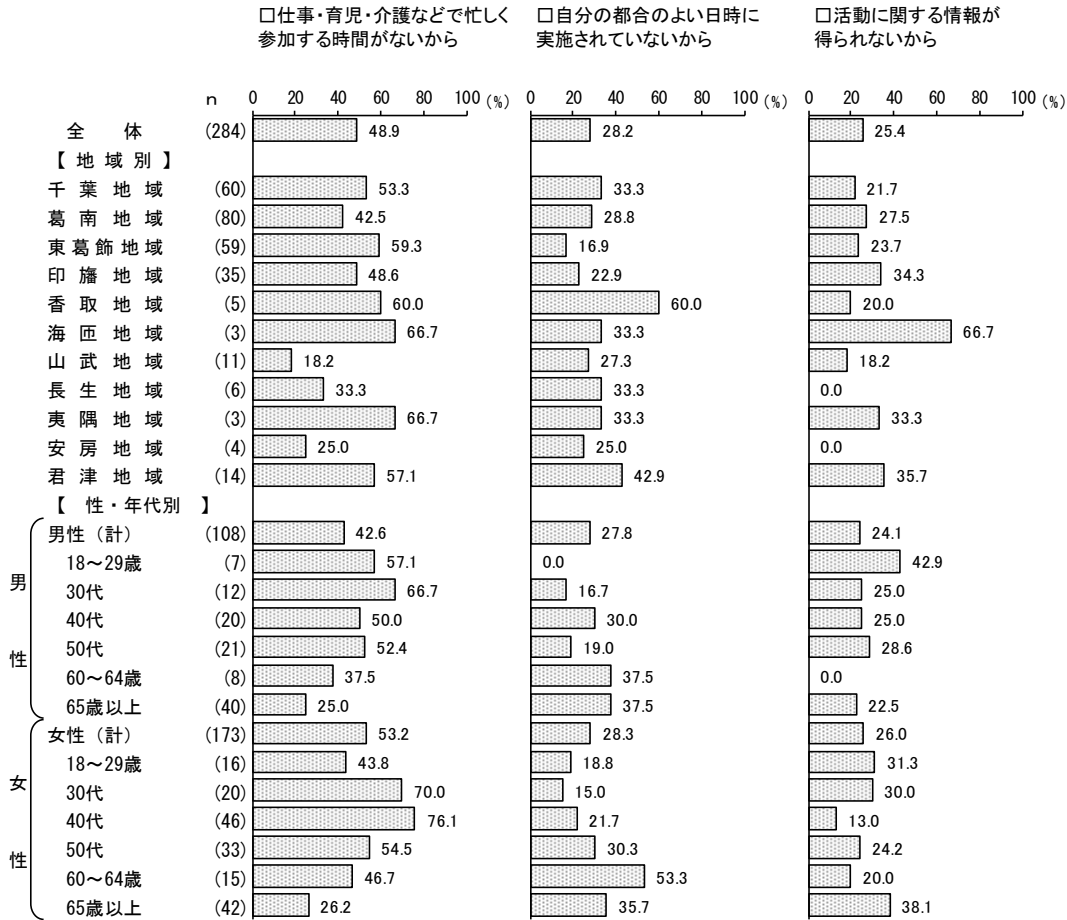
性・年代別でみると、「仕事・育児・介護などで忙しく参加する時間がないから」は、女性の40代(76.1%)で7割台半ばと、他の年代に比べ高くなっている。(図表 I - 2 - 14)

【家族構成・子どもの成長段階別】

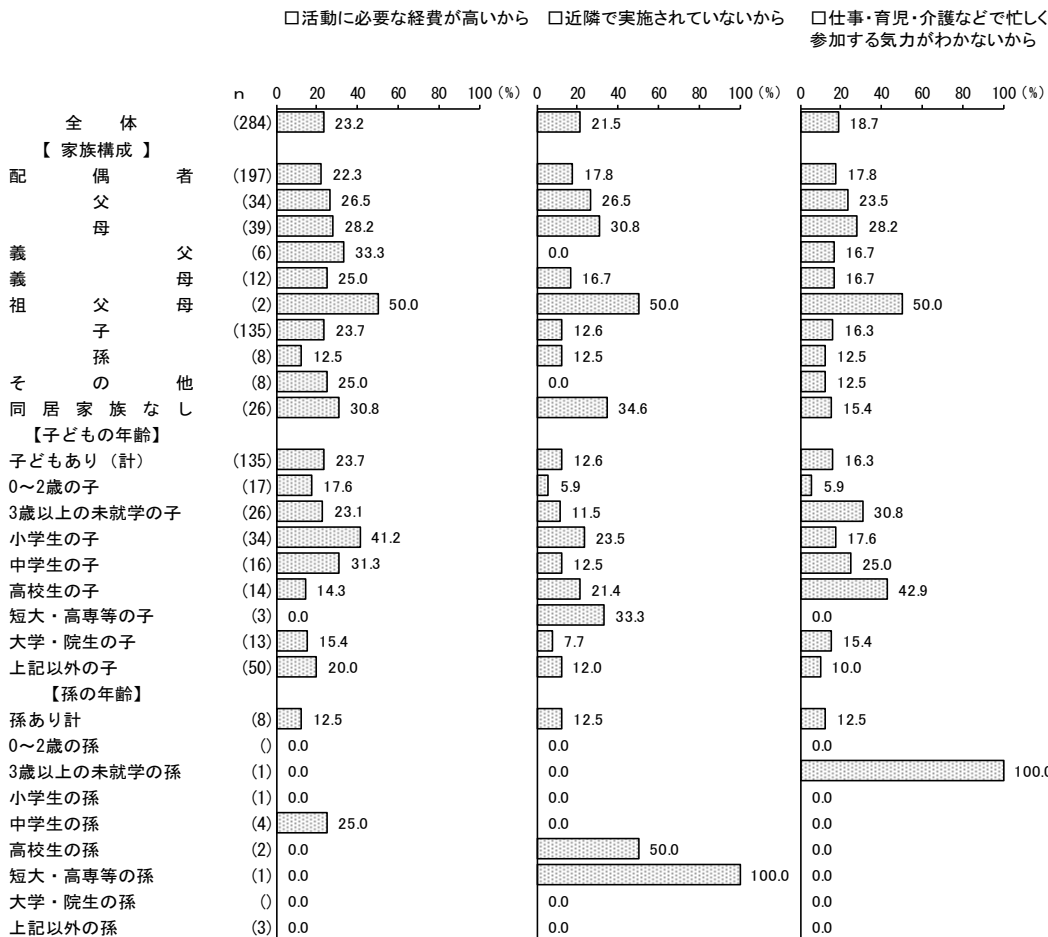
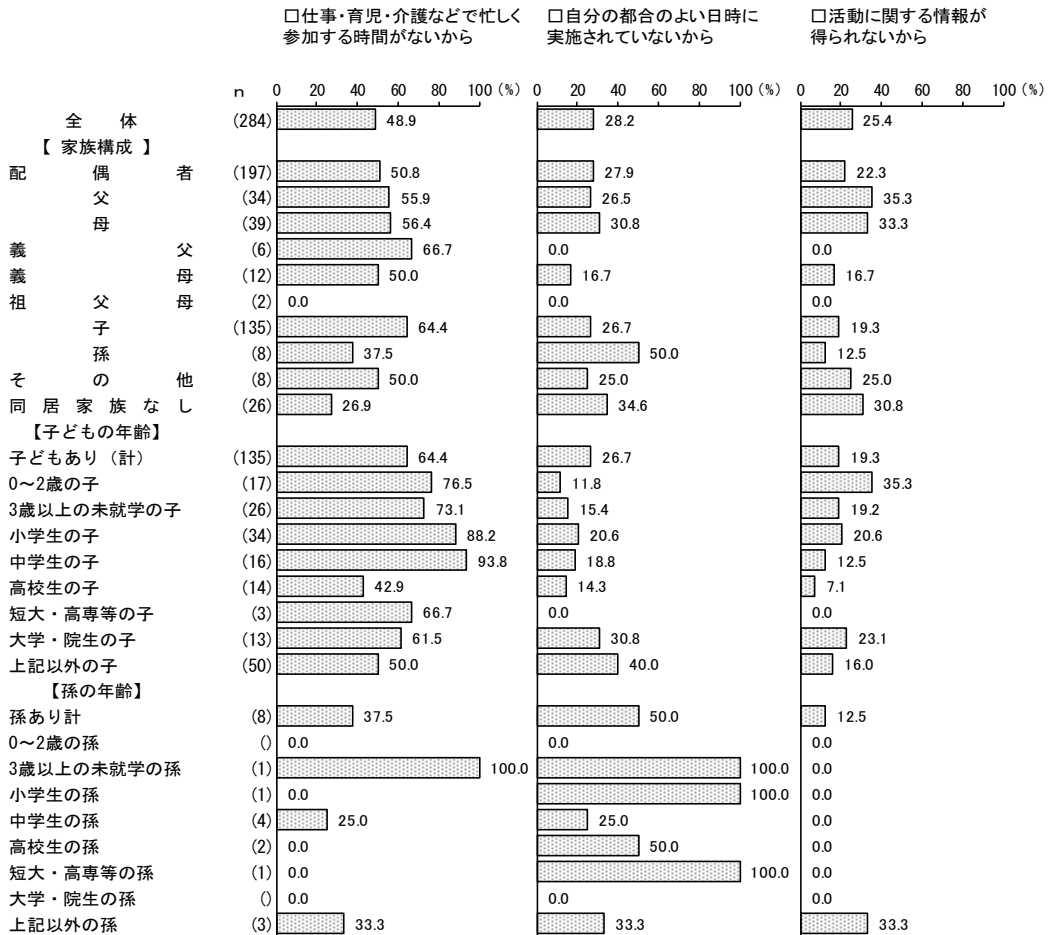
家族構成別及び子どもの成長段階別でみると、「仕事・育児・介護などで忙しく参加する時間がないから」は、子(64.4%)で6割台半ばと、他の家族構成に比べ高くなっている。

また、子のうち、小学生の子(88.2%)が約9割、中学生の子(93.8%)が9割台半ばと特に高くなっている。(図表 I - 2 - 15)

<図表 I - 2 - 14>文化芸術活動を行っていない理由／地域別、性・年代別



<図表 I - 2 - 15>文化芸術活動を行っていない理由／家族構成・子どもの成長段階別



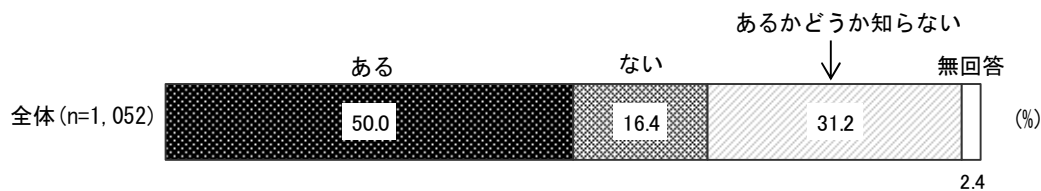
3. 各地域における伝統芸能について

(1) 居住地域における継承されている伝統芸能の有無

◇『ある』が5割

問16 あなたが住んでいる地域では、継承されている祭り、踊り、笛・太鼓の音楽等の伝統芸能がありますか。(〇は1つ)

<図表 I - 3 - 1> 居住地域における継承されている伝統芸能の有無



お住まいの地域で継承されている伝統芸能があるかを聞いたところ、「ある」(50.0%)が5割となっている。

また、「あるかどうか知らない」(31.2%)が3割を超えている。

(図表 I - 3 - 1)

【地域別】

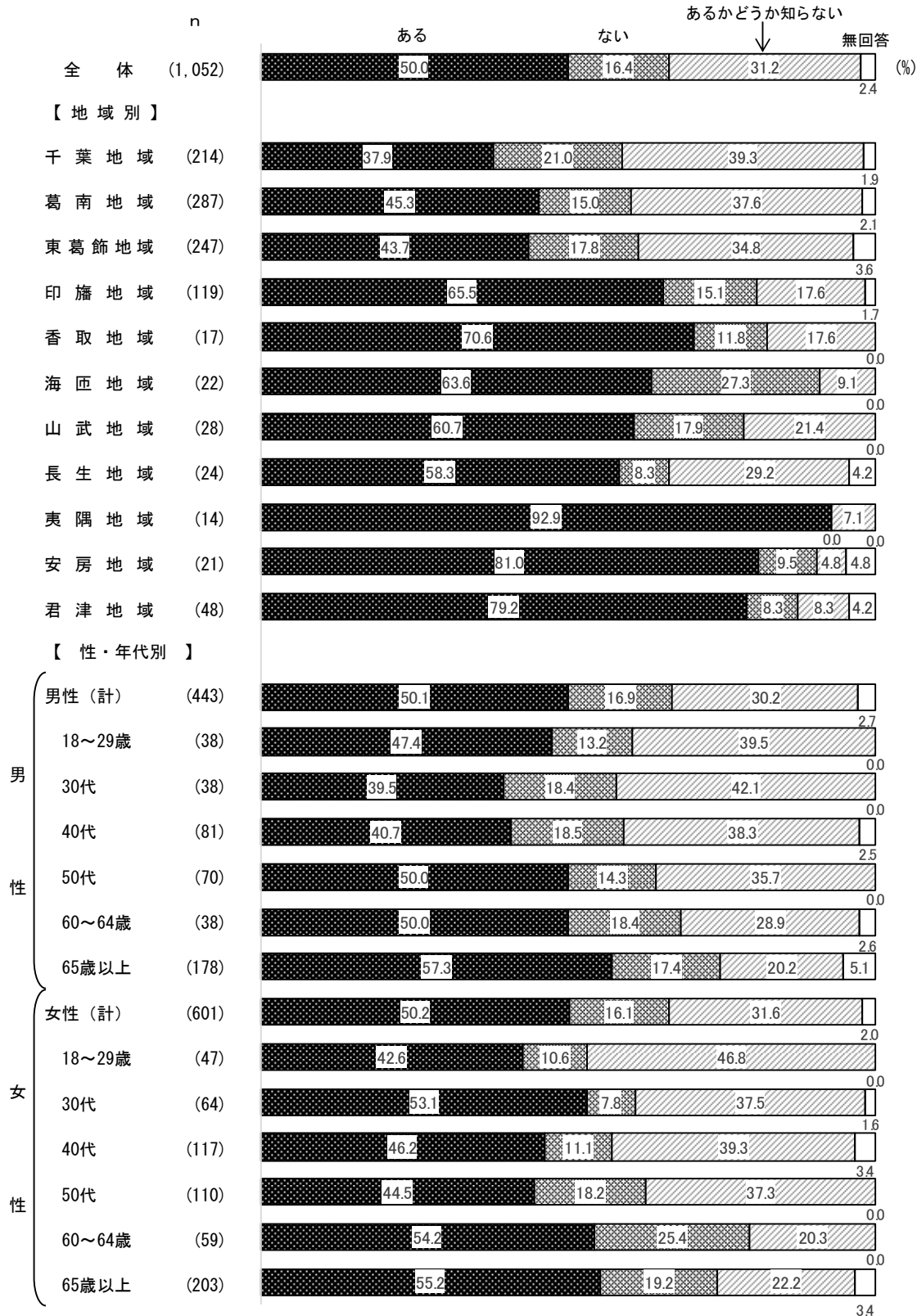
地域別にみると、「ある」は、「夷隅地域」(92.9%)で9割を超え、「安房地域」(81.0%)で8割、「君津地域」(79.2%)で約8割と、他の地域に比べ高くなっている。

(図表 I - 3 - 2)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「ある」は、男性の65歳以上(57.3%)で約6割と、他の年代に比べ高くなっている。(図表 I - 3 - 2)

<図表 I - 3 - 2> 居住地域における継承されている伝統芸能の有無／地域別、性・年代別



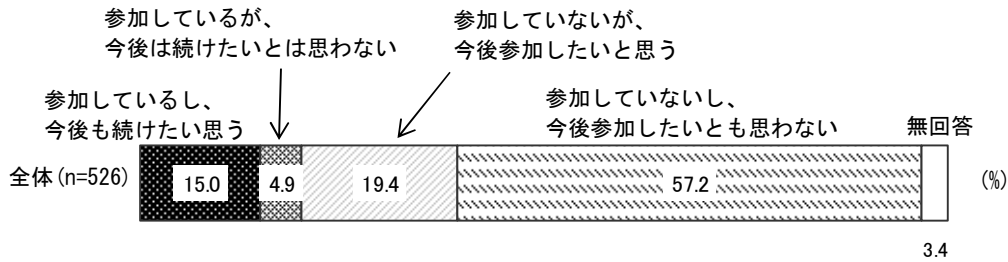
(2) 居住地域における伝統芸能への参加有無及び今後の意向

◇『参加していないし、今後参加したいとも思わない』が約6割と最も高い

【問16で「1. ある」に回答した方に】

問17 あなたは、自分が住んでいる地域の伝統芸能に担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加していますか。または参加したいと思いますか。（○は1つ）

<図表 I - 3 - 3> 居住地域における伝統芸能への参加有無及び今後の意向



「お住まいの地域で継承されている伝統芸能がある方」526人を対象に、担い手として参加の有無と今後の意向を聞いたところ、「参加していないし、今後参加したいとも思わない」（57.2%）が約6割と最も高い。

一方で、「参加しているし、今後も続けたいと思う」（15.0%）は1割台半ばとなっている。

（図表 I - 3 - 3）

【地域別】

地域別にみると、「参加しているが、今後は続けたいとは思わない」は、“千葉地域”（11.1%）で1割を超え、他の地域に比べ高くなっている。

（図表 I - 3 - 4）

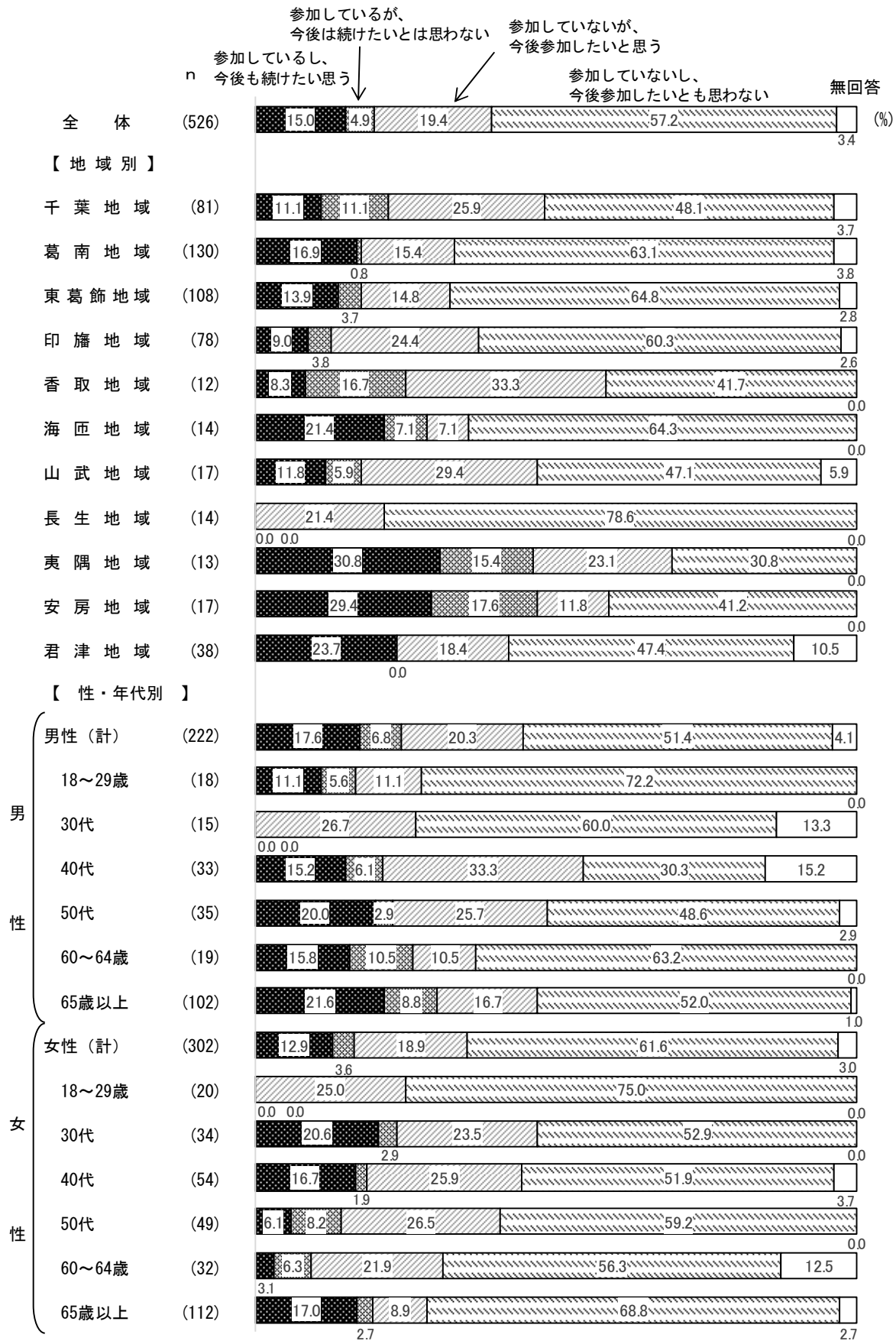
【性・年代別】

性・年代別でみると、「参加しているし、今後も続けたいと思う」は、男性の65歳以上（21.6%）で2割を超え、他の年代に比べ高くなっている。

「参加していないし、今後参加したいとも思わない」は、女性の65歳以上（68.8%）で約7割と、他の年代に比べ高くなっている。

（図表 I - 3 - 4）

<図表 I - 3 - 4> 居住地域における伝統芸能への参加有無及び今後の意向 / 地域別、性・年代別



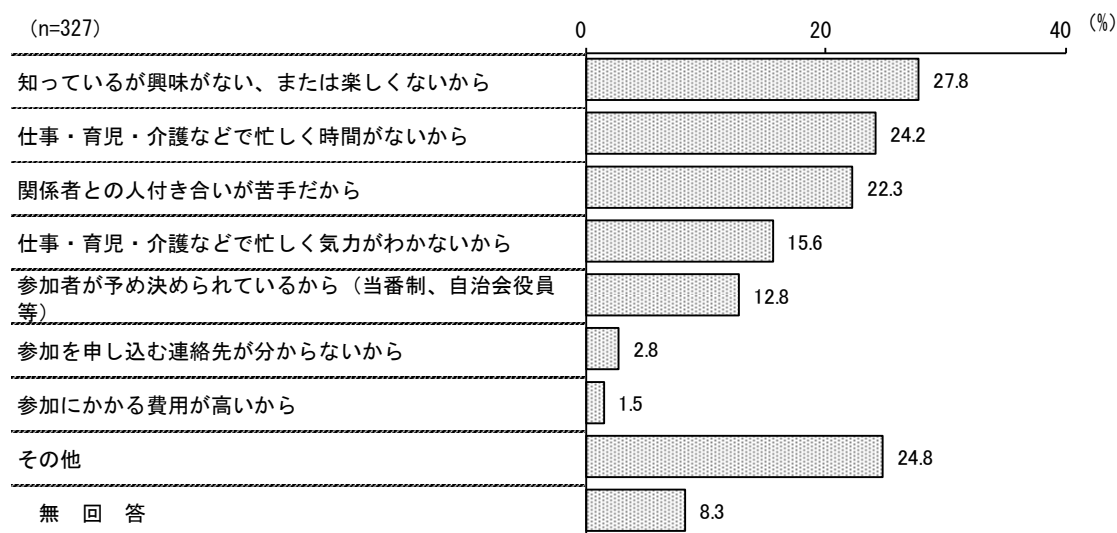
(3) 居住地域における伝統芸能に今後参加したくない理由

◇『知っているが興味がない、または楽しくないから』が約3割で最も高い

【問17で「2. 参加しているが、今後は続けたいとは思わない」または「4. 参加していないし、今後参加したいとも思わない」に回答した方に】

問18 あなたが担い手（出演、神輿の担ぎ手、裏方等）として参加を続けたいとは思わない、又は参加したいと思わない理由は何ですか。（〇は3つまで）

<図表 I - 3 - 5> 居住地域における伝統芸能に今後参加したくない理由



「お住まいの地域で継承された伝統芸能がある方で、担い手として『参加しているが今後は続けたいとは思わない』または『参加していないし、今後参加したいとも思わない』とした方 327人を対象に、その理由を聞いたところ、「知っているが興味がない、または楽しくないから」（27.8%）が約3割で最も高く、以下「仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから」（24.2%）、「関係者との人付き合いが苦手だから」（22.3%）となっている。（図表 I - 3 - 5）

【地域別】

地域別にみると、「参加者が予め決められているから（当番制、自治会役員等）」は、“千葉地域”（22.9%）で2割を超え、他の地域に比べ高くなっている。

（図表 I - 3 - 6）

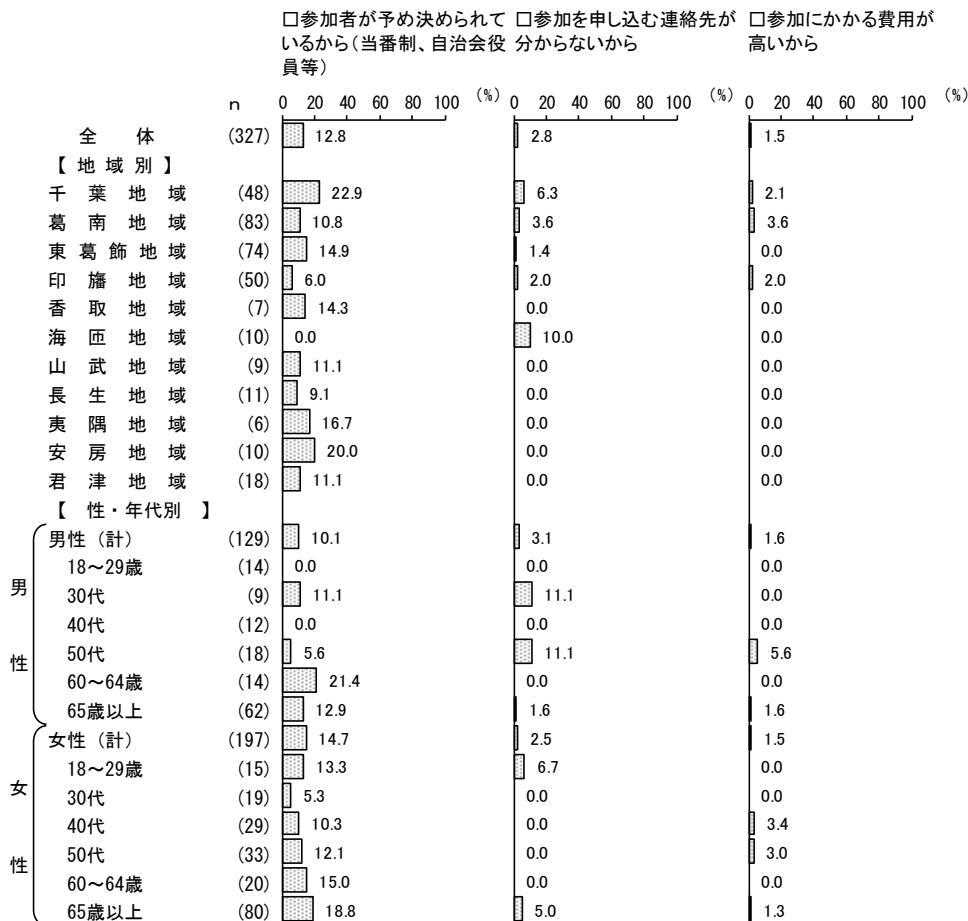
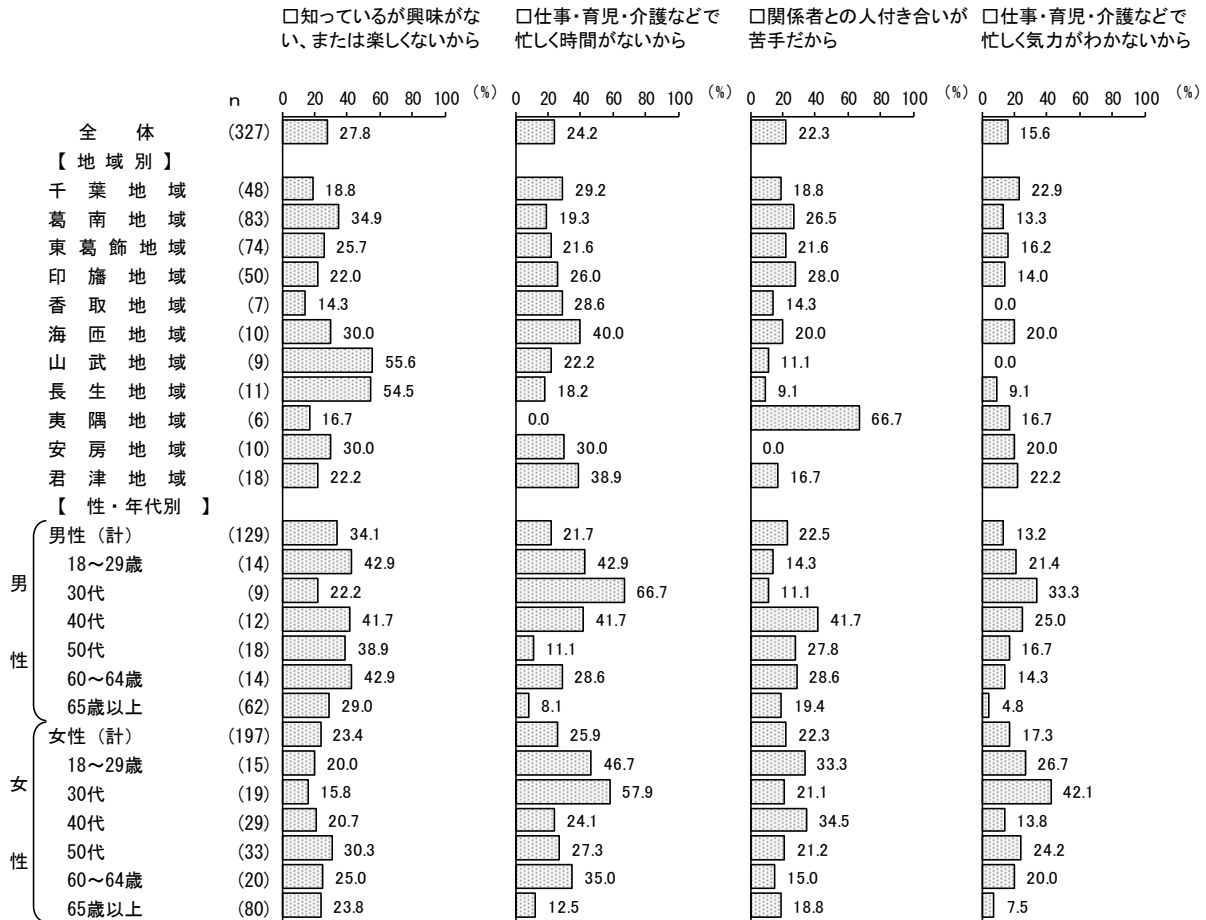
【性・年代別】

性・年代別でみると、「仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから」は、女性の30代（57.9%）で約6割と、他の年代に比べ高くなっている。

「仕事・育児・介護などで忙しく気力がわかないから」は、女性の30代（42.1%）で4割を超え、他の年代に比べ高くなっている。

（図表 I - 3 - 6）

<図表 I - 3 - 6> 居住地域における伝統芸能に今後参加したくない理由／地域別、性・年代別

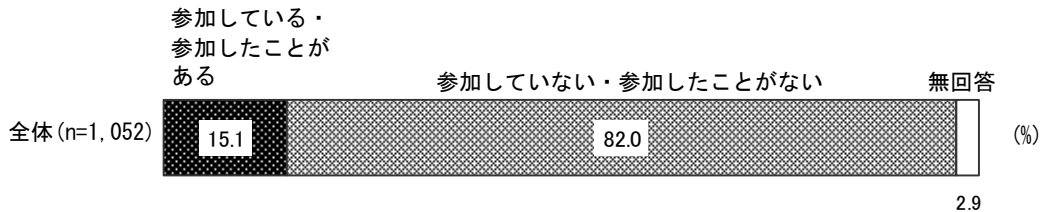


(4) 居住地域以外での伝統芸能への参加有無

◇『参加している・参加したことがある』が1割台半ば

問19 あなたは、自分が住んでいる地域以外の伝統芸能に担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加している、または参加したことがありますか。（○は1つ）

＜図表 I - 3 - 7＞居住地域以外での伝統芸能への参加有無



お住まいの地域以外で伝統芸能に担い手として参加経験があるかを聞いたところ、「参加している・参加したことがある」（15.1%）が1割台半ばである。

一方、「参加していない・参加したことがない」（82.0%）は8割を超えている。

（図表 I - 3 - 7）

【地域別】

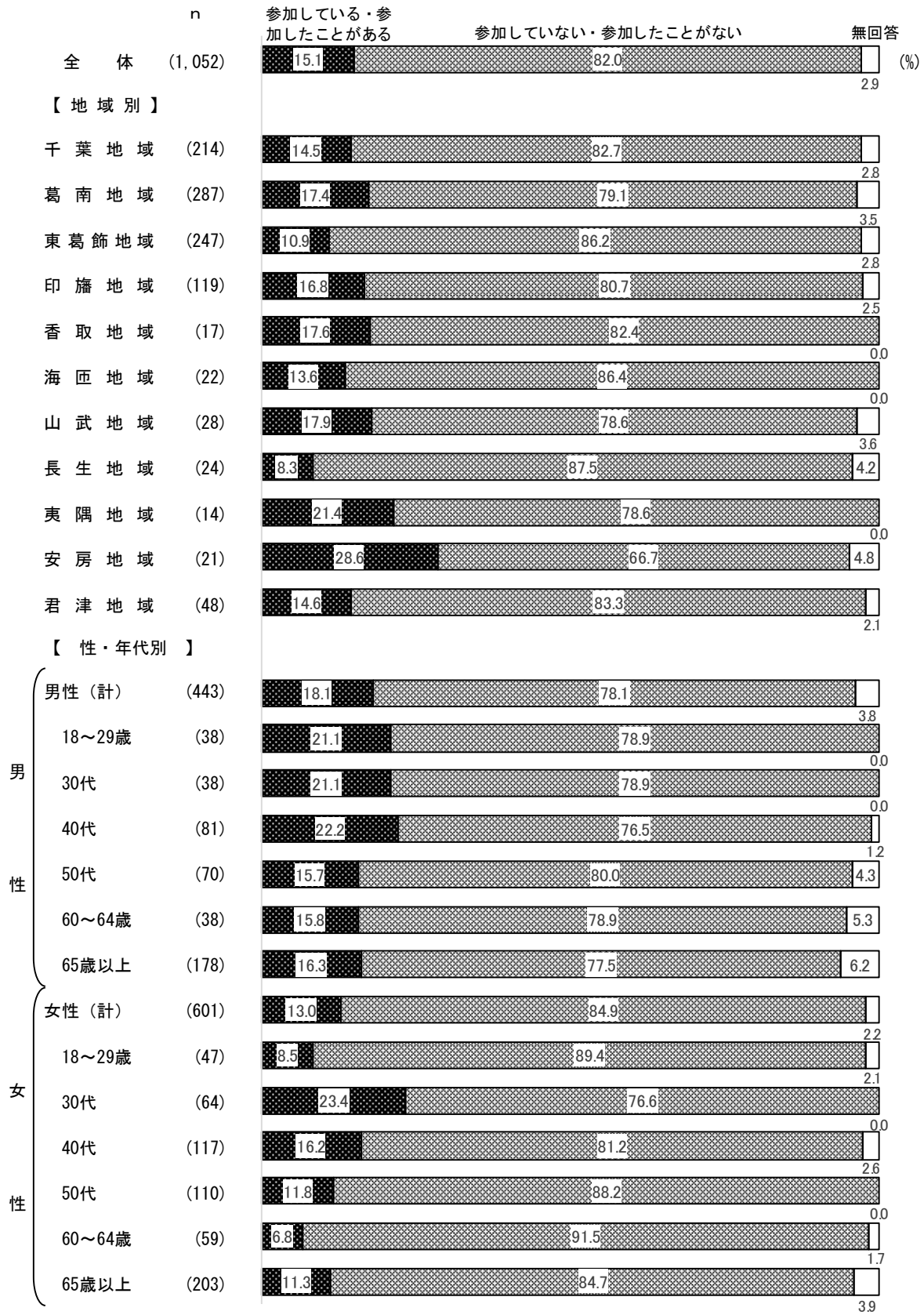
地域別にみると、「参加している・参加したことがある」は、“東葛飾地域”（10.9%）で1割と、他の地域に比べ低くなっている。

（図表 I - 3 - 8）

【性・年代別】

性・年代別でみると、「参加している・参加したことがある」は、男性（計）（18.1%）で約2割と、女性（計）（13.0%）に比べ高くなっている。（図表 I - 3 - 8）

<図表 I - 3 - 8> 居住地以外での伝統芸能への参加有無／地域別、性・年代別



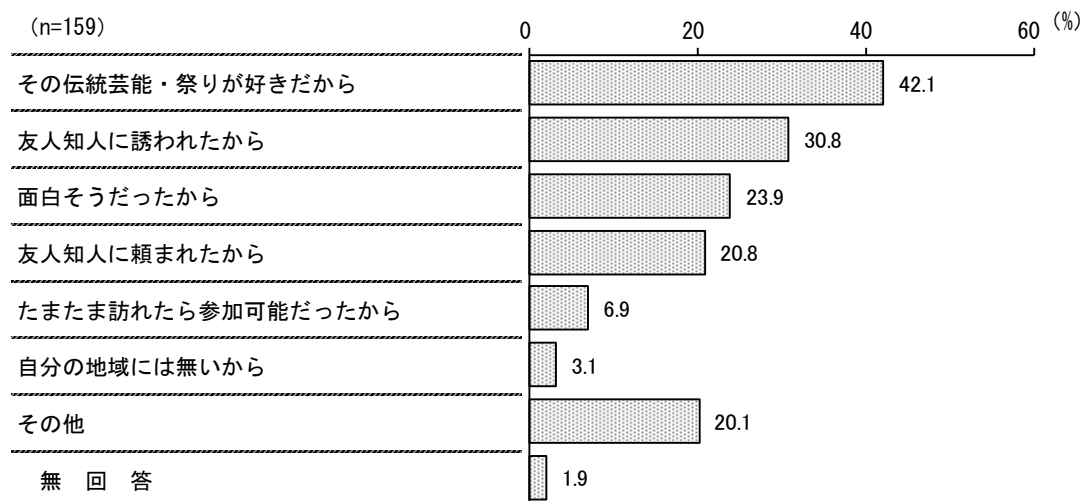
(5) 居住地域以外での伝統芸能への参加理由

◇『その伝統芸能・祭りが好きだから』が4割を超えて最も高い

【問19で「1. 参加している・参加したことがある」に回答した方に】

問20 参加している（参加した）理由は何ですか。（〇はいくつでも）

＜図表 I - 3 - 9＞居住地域以外での伝統芸能への参加理由



「お住まいの地域以外で伝統芸能に担い手として参加経験があったとした方」159人を対象に、参加理由を聞いたところ、「その伝統芸能・祭りが好きだから」（42.1%）が4割を超えて最も高く、以下「友人知人に誘われたから」（30.8%）、「面白そうだったから」（23.9%）となっている。

（図表 I - 3 - 9）

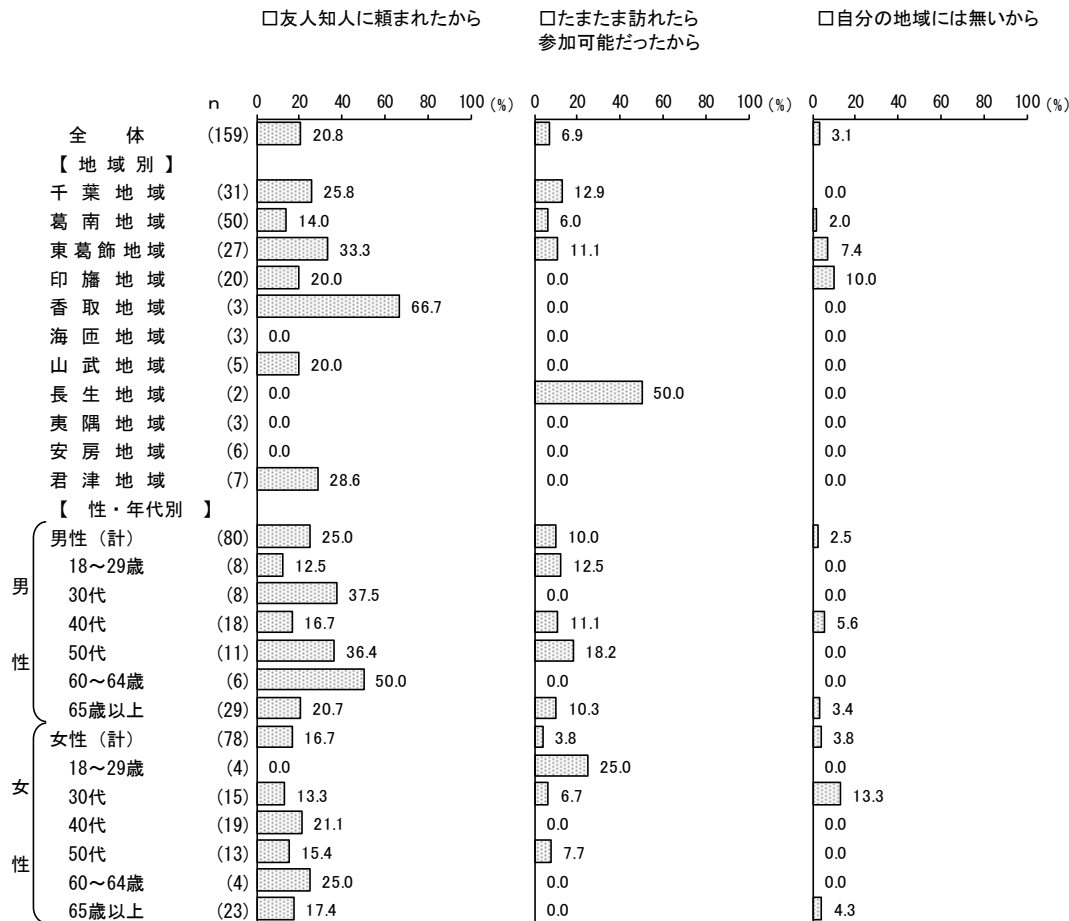
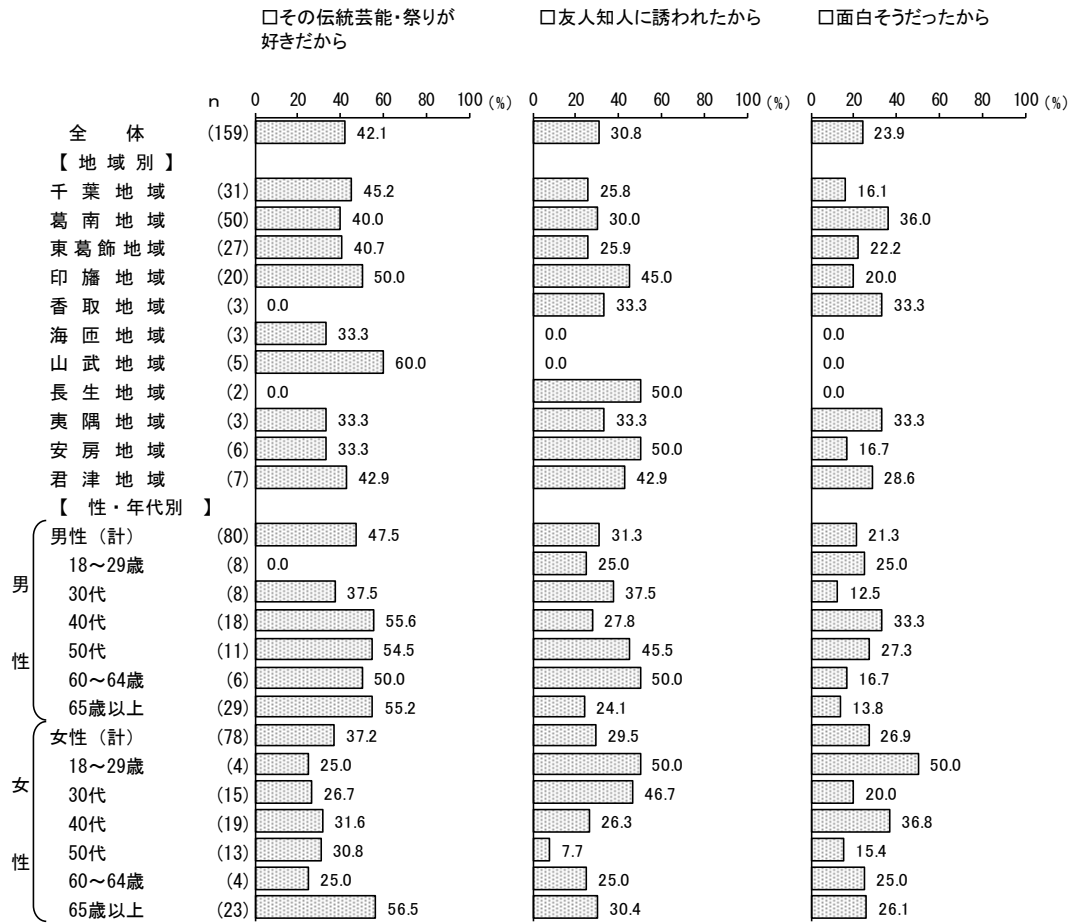
【地域別】

地域別にみると、「面白そうだったから」は、“葛南地域”（36.0%）で3割台半ばと、他の地域に比べ高くなっている。（図表 I - 3 - 10）

【性・年代別】

性・年代別で特に大きな違いは見られない。（図表 I - 3 - 10）

<図表 I - 3 - 10> 居住地以外での伝統芸能への参加理由／地域別、性・年代別



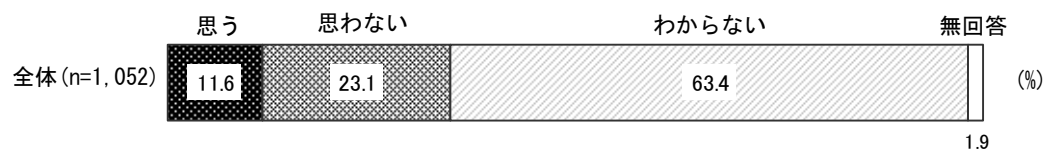
4. 障害のある方の文化芸術活動について

(1) 障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会について

◇十分にあり『思う』は1割を超える

問21 県では、障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できることが大切だと考えていますが、県内でそのような鑑賞・参加ができる機会は十分だと思いますか。
(○は1つ)

<図表 I-4-1> 障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会



障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会が十分にありと思うかを聞いたところ、「思う」(11.6%)が1割を超えている。

一方で、「思わない」(23.1%)が2割を超え、「わからない」(63.4%)が6割台半ばとなっている。

(図表 I-4-1)

【地域別】

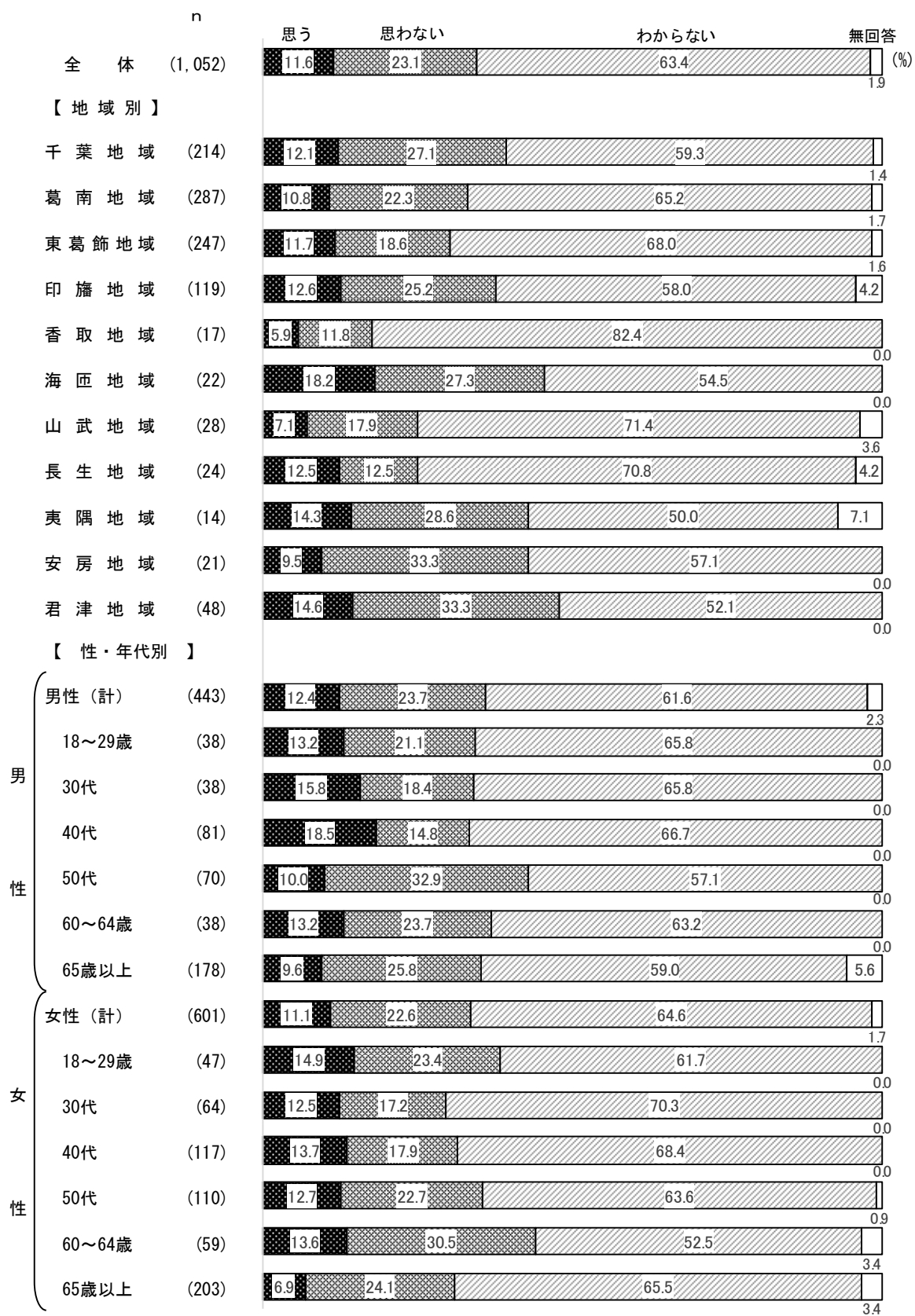
地域別で特に大きな違いは見られない。(図表 I-4-2)

【性・年代別】

性・年代別で見ると、「思う」は、女性の65歳以上で6.9%と、他の年代に比べ低くなっている。

(図表 I-4-2)

<図表 I - 4 - 2> 障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会／地域別、性・年代別

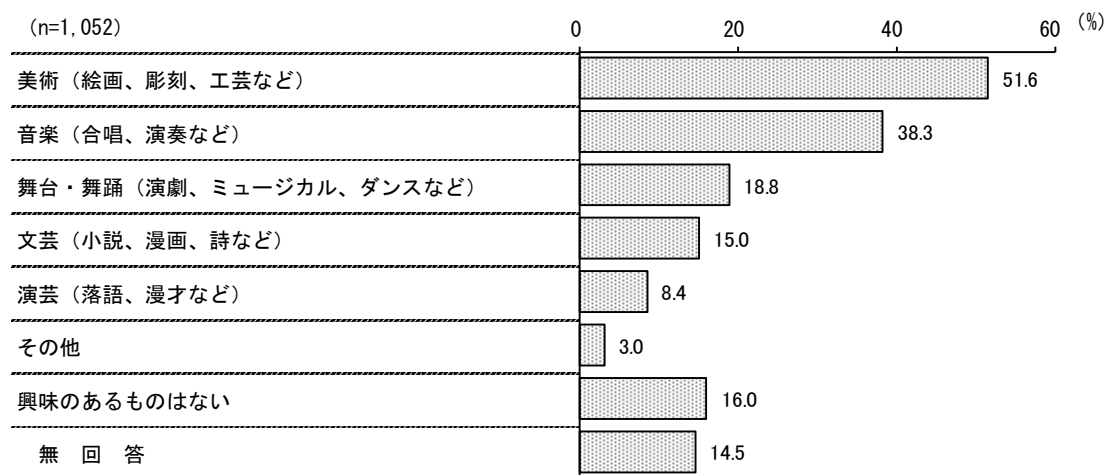


(2) 障害のある方の文化芸術活動で興味があるもの

◇『美術（絵画、彫刻、工芸など）』が5割を超えて最も高い

問22 障害のある方の文化芸術活動のうち、あなたが興味のあるものはありますか。（○はいくつでも）

<図表 I - 4 - 3> 障害のある方の文化芸術活動で興味があるもの



障害のある方の文化芸術活動で興味があるものを聞いたところ、「美術（絵画、彫刻、工芸など）」（51.6%）が5割を超えて最も高く、以下「音楽（合唱、演奏など）」（38.3%）、「舞台・舞踊（演劇、ミュージカル、ダンスなど）」（18.8%）となっている。

また、「興味のあるものはない」（16.0%）が1割台半ばである。

（図表 I - 4 - 3）

【地域別】

地域別にみると、「興味のあるものはない」は、「海匝地域」（45.5%）で4割台半ばと、他の地域に比べ高くなっている。（図表 I - 4 - 4）

【性・年代別】

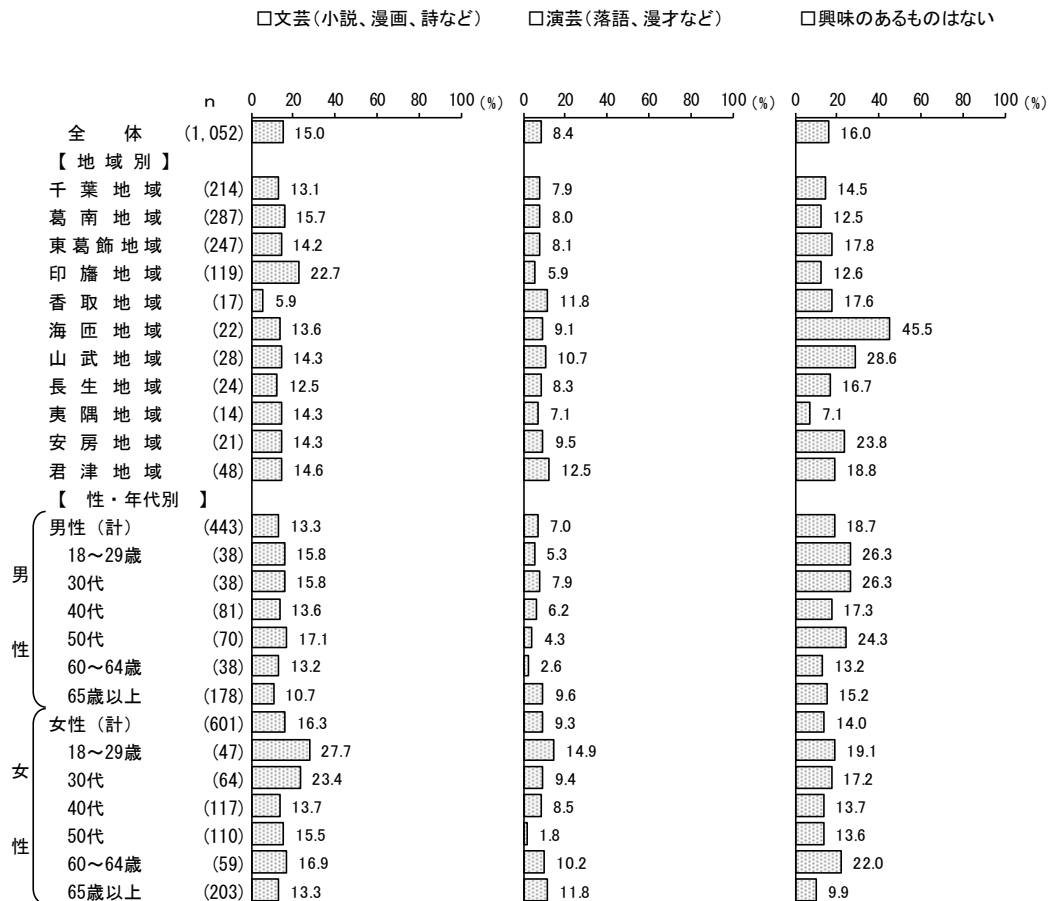
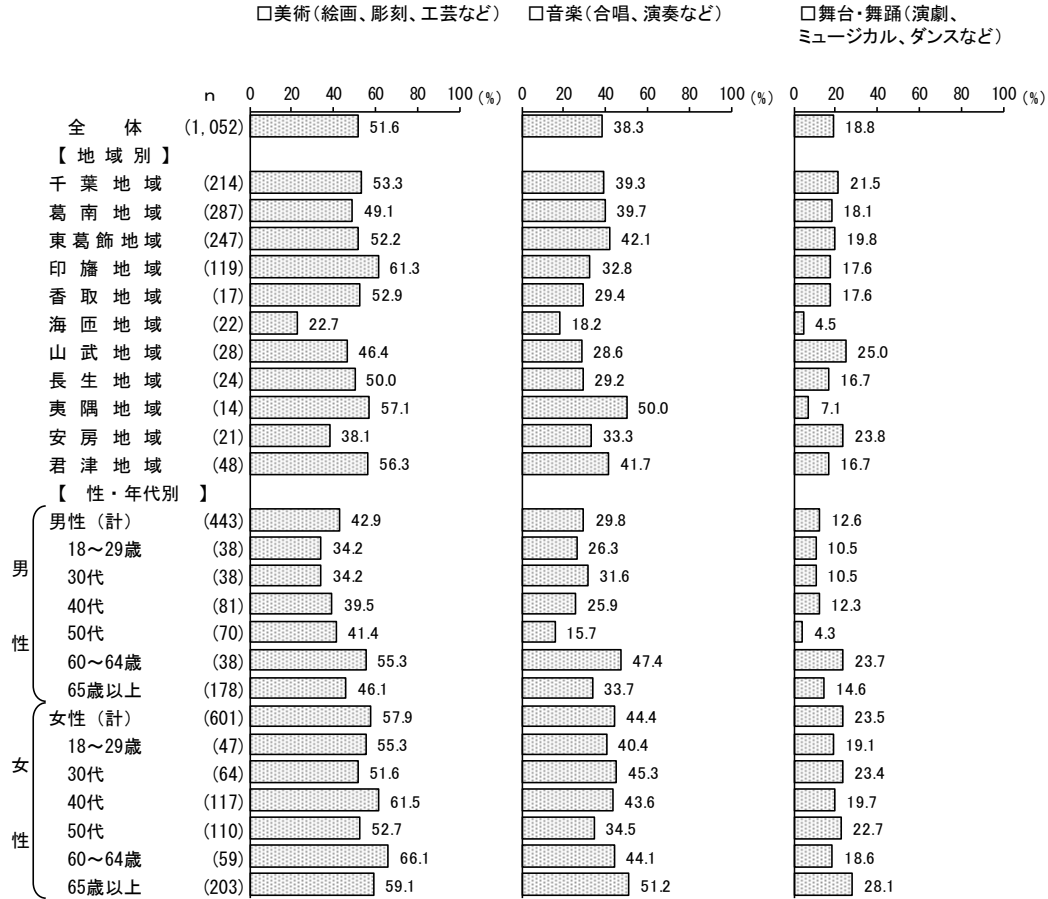
性・年代別でみると、「美術（絵画、彫刻、工芸など）」は、女性の60～64歳（66.1%）で6割台半ば、女性の40代（61.5%）で6割を超え、女性の65歳以上（59.1%）で約6割と、他の年代に比べ高くなっている。

「音楽（合唱、演奏など）」は、女性の65歳以上（51.2%）で5割を超え、他の年代に比べ高くなっている。

「舞台・舞踊（演劇、ミュージカル、ダンスなど）」は、女性の65歳以上（28.1%）で約3割と、他の年代に比べ高くなっている。

（図表 I - 4 - 4）

<図表 I - 4 - 4> 障害のある方の文化芸術活動で興味があるもの／地域別、性・年代別



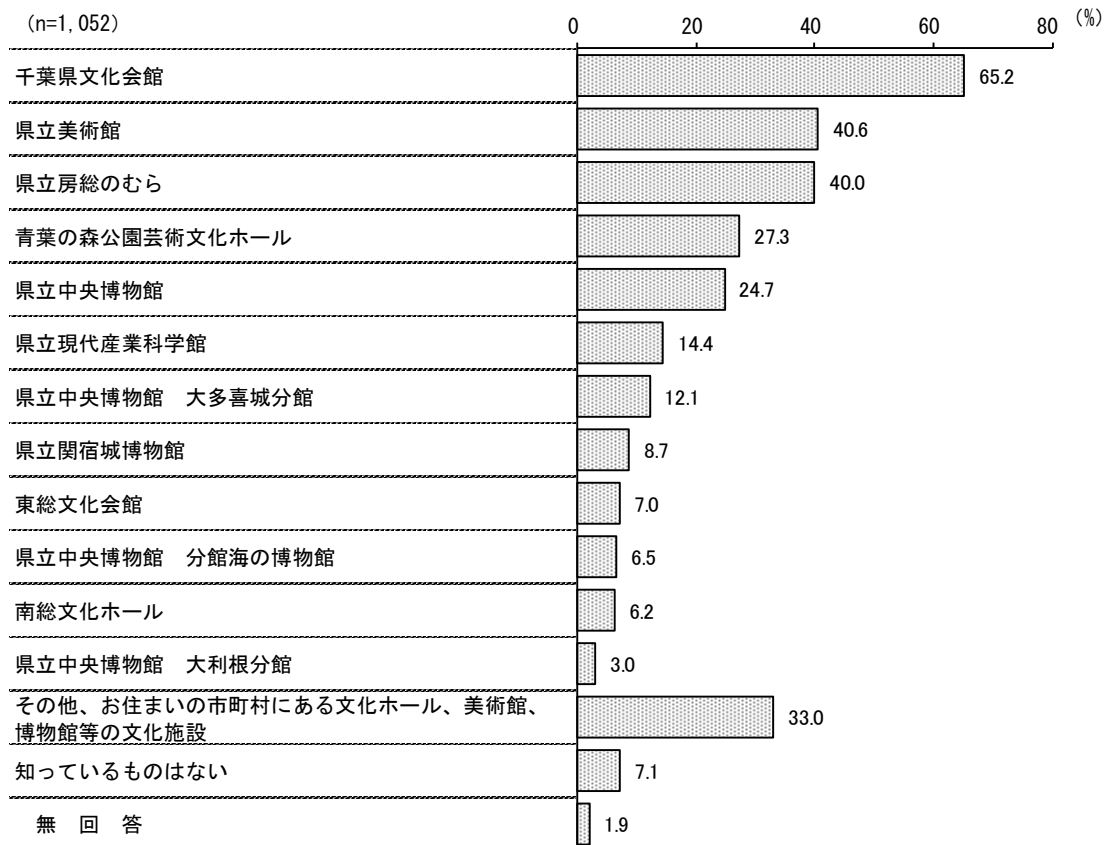
5. 文化施設について

(1) 県内文化施設の認知

◇『千葉県文化会館』が6割台半ばで最も高い

問23 千葉県にある次の文化施設のうち、あなたが知っているものはどれですか。(○はいくつでも)

<図表 I - 5 - 1> 県内文化施設の認知



千葉県内の文化施設で知っているものを聞いたところ、「千葉県文化会館」(65.2%)が6割台半ばで最も高く、以下「県立美術館」(40.6%)、「県立房総のむら」(40.0%)となっている。また、「知っているものはない」(7.1%)は約1割となっている。(図表 I - 5 - 1)

【地域別】

地域別にみると、「千葉県文化会館」は、“山武地域”(100.0%)で10割、“千葉地域”(88.8%)で約9割と、他の地域に比べ高くなっている。

「県立美術館」は、“夷隅地域”(71.4%)で7割を超え、“千葉地域”(68.2%)で約7割と、他の地域に比べ高くなっている。

「県立房総のむら」は、“印旛地域”(69.7%)と“海匝地域”(68.2%)で約7割と、他の地域に比べ高くなっている。

(図表 I - 5 - 2)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「千葉県文化会館」は、女性の50代（81.8%）で8割を超え、男性の50代（78.6%）で約8割と、他の年代に比べ高くなっている。

「県立美術館」は、男性の50代（60.0%）で6割、女性の50代（55.5%）と60～64歳（55.9%）で5割台半ばと他の年代に比べ高くなっている。

「県立房総のむら」は、女性の40代（49.6%）と65歳以上（47.3%）で約5割と、他の年代に比べ高くなっている。

（図表 I - 5 - 2）

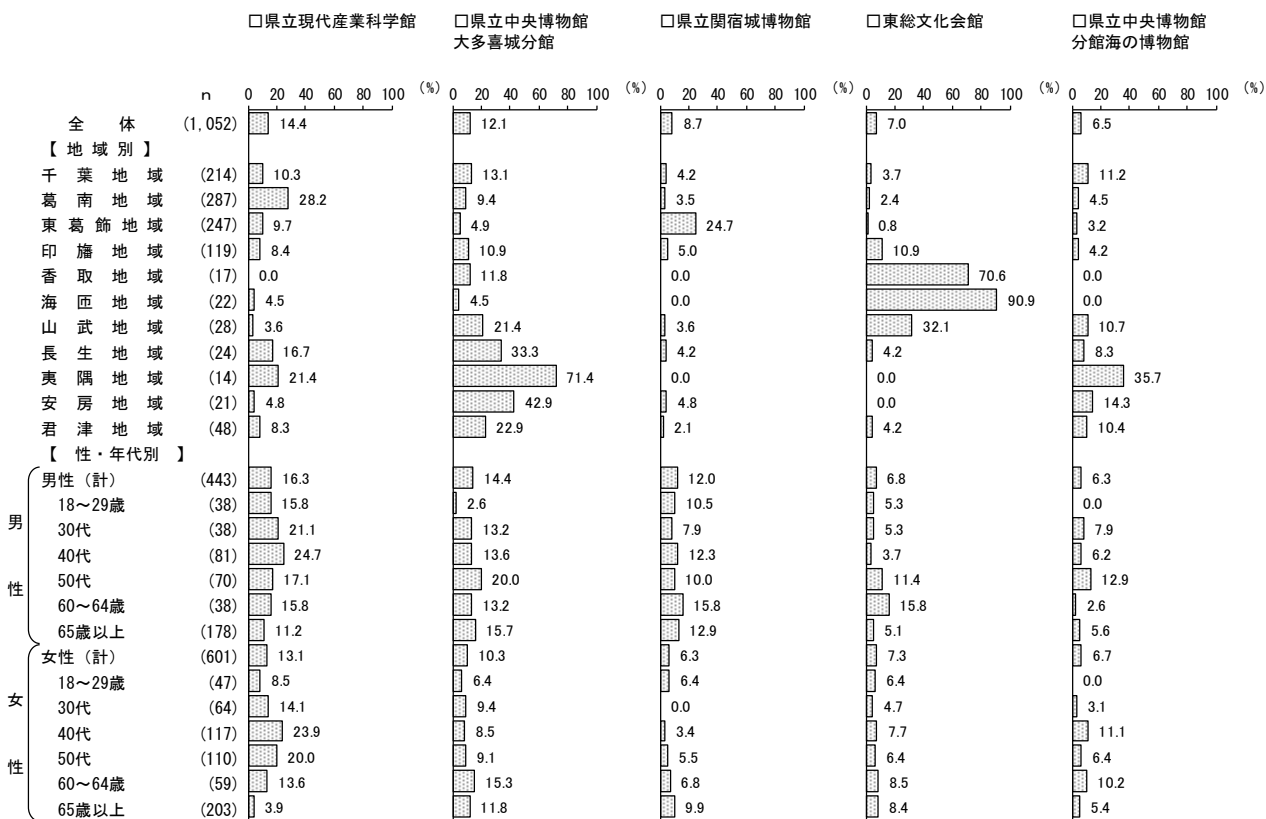
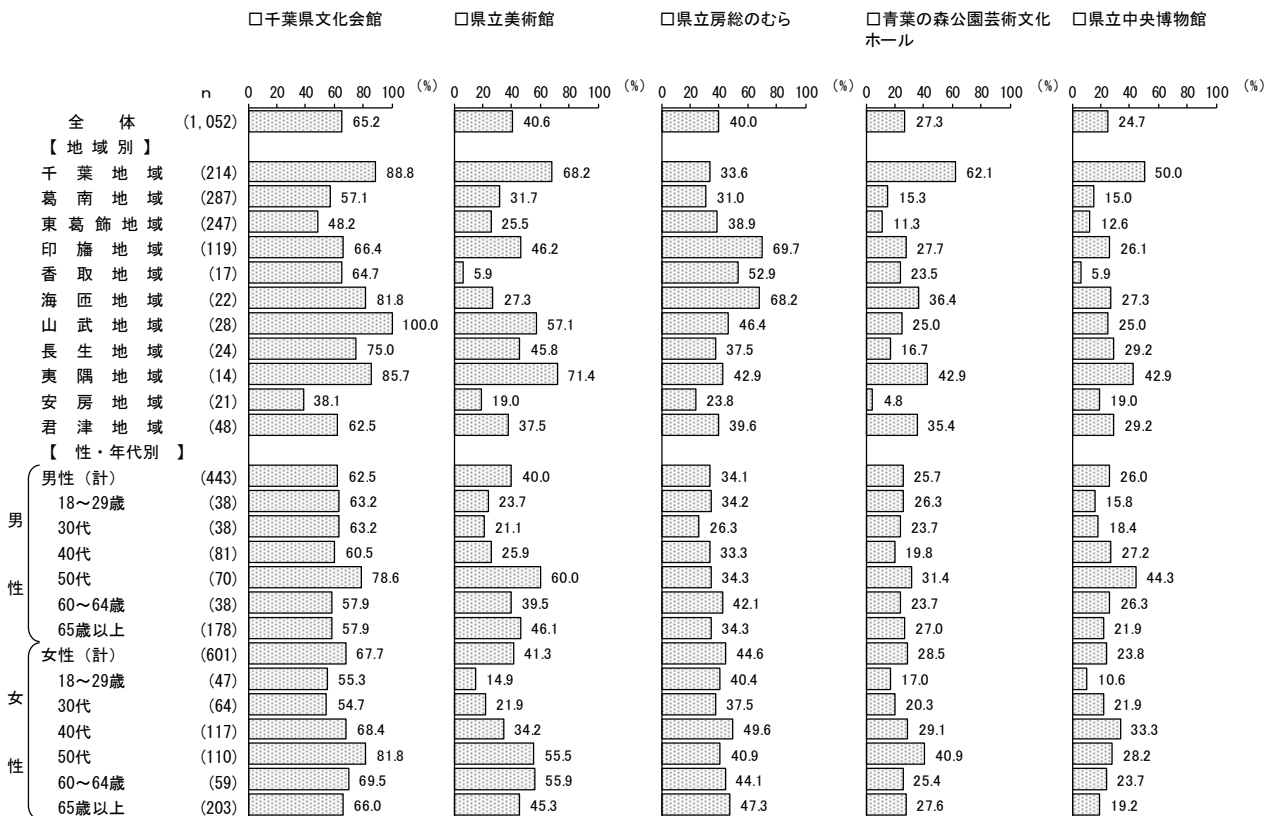
【千葉県居住年数】

千葉県居住年数でみると、「知っているものはない」は、1年未満（28.0%）と1年～3年未満（28.6%）で約3割と他の居住年数に比べ高くなっている。

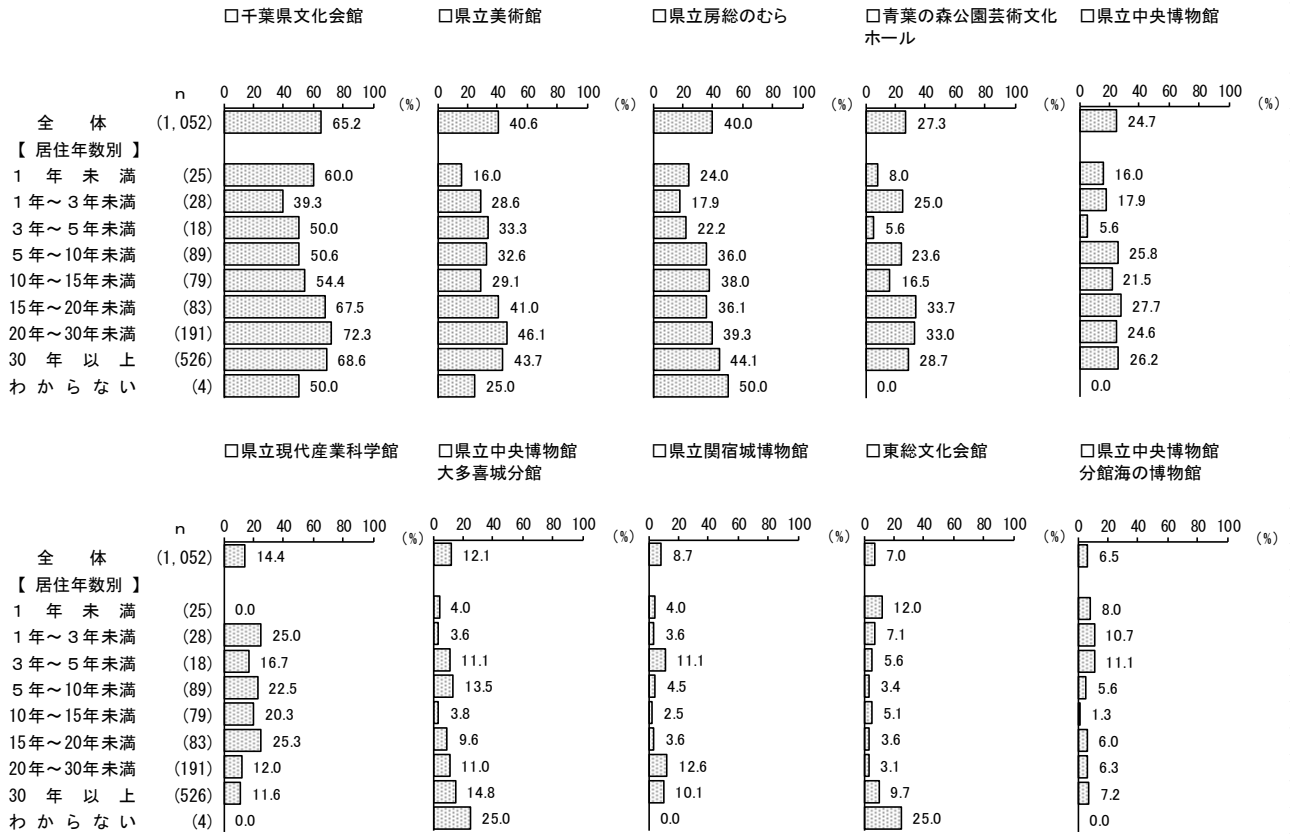
「県立房総のむら」は、30年以上（44.1%）で4割台半ばと他の居住年数に比べ高くなっている。

（図表 I - 5 - 3）

<図表 I - 5 - 2> 県内文化施設の認知／地域別、性・年代別（上位10項目）



<図表 I - 5 - 3> 県内文化施設の認知／居住年数別（上位10項目）



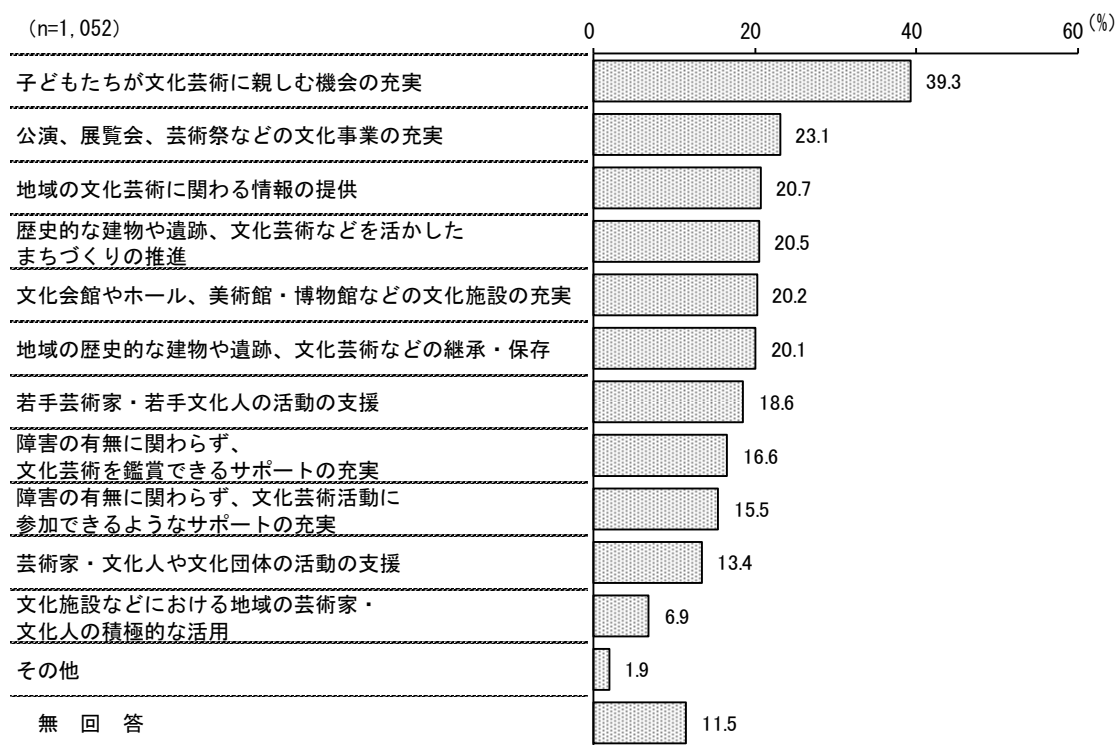
6. 県が実施する事業等について

(1) 県が積極的に取り組むべき分野

◇『子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実』が約4割で最も高い

問24 千葉県の文化芸術を振興するために、県が積極的に取り組むべき分野はどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

<図表 I - 6 - 1> 県が積極的に取り組むべき分野



千葉県が積極的に取り組むべき分野を聞いたところ、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」(39.3%)が約4割で最も高く、以下「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」(23.1%)、「地域の文化芸術に関わる情報の提供」(20.7%)、「歴史的な建物や遺跡、文化芸術などを活かしたまちづくりの推進」(20.5%)、「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」(20.2%)、「地域の歴史的な建物や遺跡、文化芸術などの継承・保存」(20.1%)となっている。

(図表 I - 6 - 1)

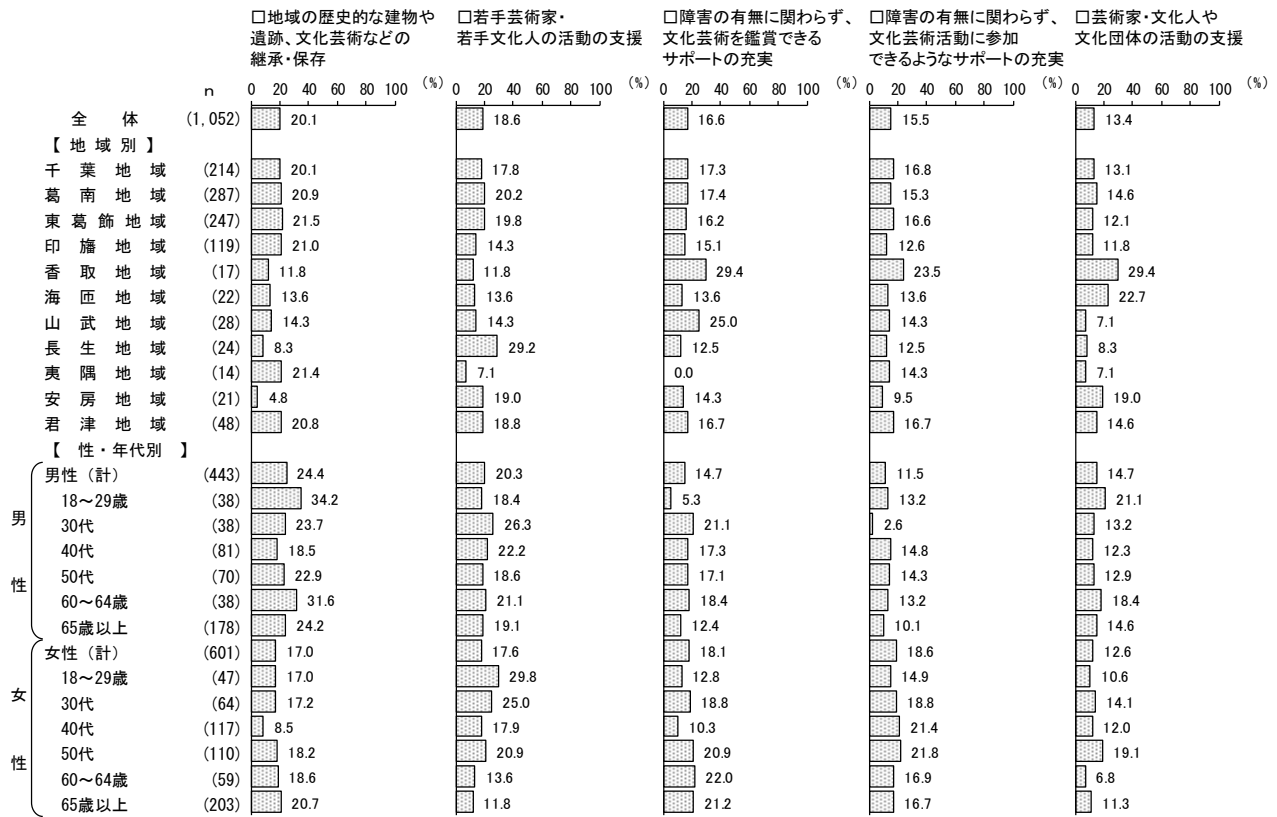
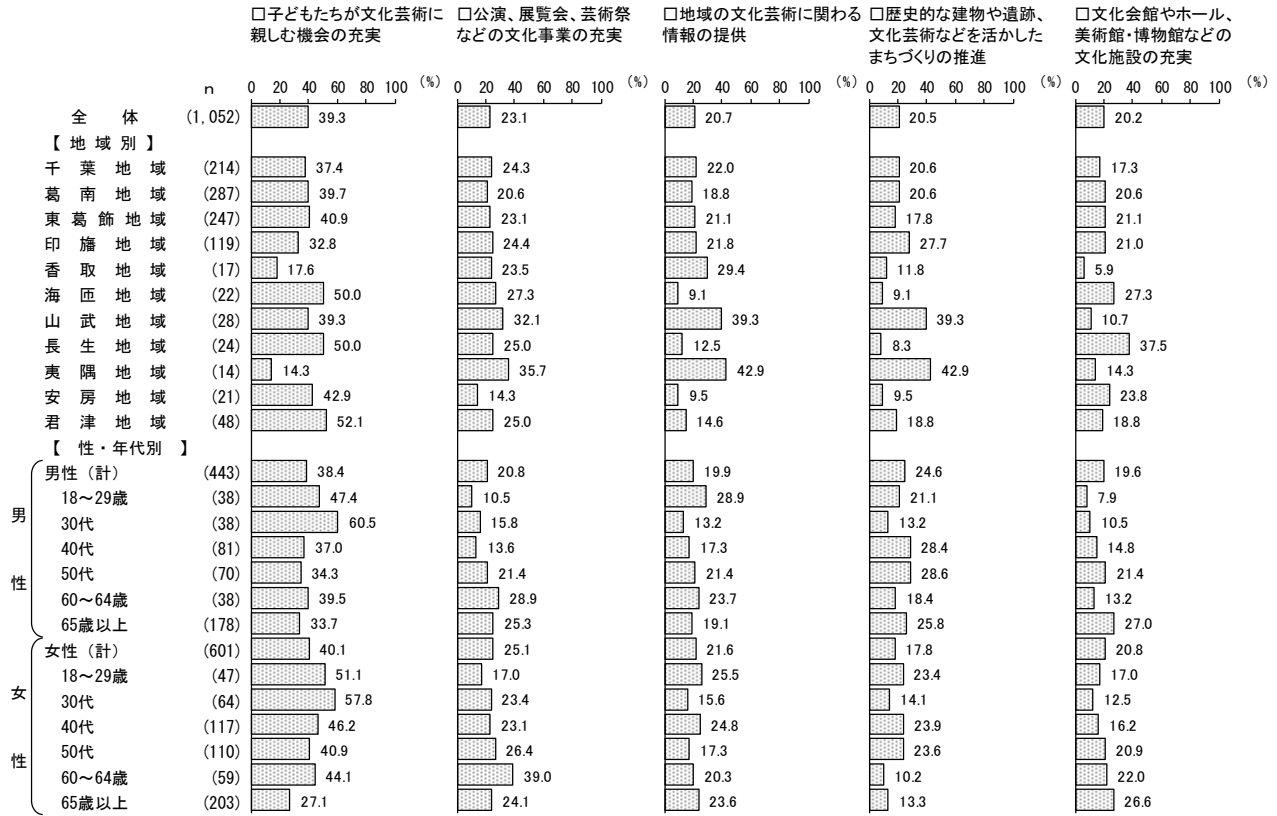
【地域別】

地域別にみると、「文化施設などにおける地域の芸術家・文化人の積極的な活用」は、“香取地域”(23.5%)で2割台半ばと、他の地域に比べ高くなっている。(図表 I - 6 - 2)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」は、男性の30代(60.5%)で6割、女性の30代(57.8%)で約6割と、他の年代に比べ高くなっている。(図表 I - 6 - 2)

<図表 I - 6 - 2> 県が積極的に取り組むべき分野／地域別、性・年代別（上位10項目）



(2) 県が取り組むべき文化施策等に対するご意見等（自由記述の集計）

◇『広報、情報発信に関するご意見』が最も多い

問25 県が取り組む文化施策等に対してご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

<図表 I - 6 - 3> 県が取り組むべき文化施策等に対するご意見等（自由記述）

順位	項目	件数
第1位	広報、情報発信に関するご意見	39
第2位	催し物・イベント等に関するご意見	34
第3位	支援・援助に関するご意見	16
〃	施設の内容に関するご意見	16
第5位	施設へのアクセスに関するご意見	13
第6位	障がい者への支援に関するご意見	11
第7位	子どもたちへの施策に関するご意見	8
第8位	高齢者への支援に関するご意見	1
-	特になし	13
-	その他	55

※回答内容ごとに項目へ分類。

※一人の回答が複数の内容に渡る場合には、それぞれの項目へ分類。

県が取り組むべき文化施策等に対するご意見等について聞いたところ、「広報、情報発信に関するご意見」が39件と最も多く、以下「催し物・イベント等に関するご意見」（34件）、「支援・援助に関するご意見」「施設の内容に関するご意見」（共に16件）となっている。

(図表 I - 6 - 3)

紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、以下に意見の一部を抜粋して記載する。

◇広報、情報発信に関するご意見

○文化や芸術も多くの人に興味を持って貰うところからだと思うので、PRに力を入れてみるか発信力のある人もしくはサイトに取りあげてもらえるような題材でまずは人の目を集めることが必要だと考えます。
(男性、18～29歳、印旛地域)

○催し物の告知が少なく、どこで何が鑑賞、体験が出来るのかの情報をまとめてある物があるとより興味を持つ方が増えるかと思います。
(女性、18～29歳、千葉地域)

○駅前など大勢の方々に目に付く様に情報（ポスター）を多くしてほしい。
(女性、65歳以上、千葉地域)

○科学館、博物館は充実していて親子で楽しめるのがよい。県が取り組んでいる文化施策がどんな内容かもっとよく知りたいです。東京が近いので、そちらのほうに魅力を感じてしまう。
(男性、40～49歳、葛南地域)

◇催し物・イベント等に関するご意見

○一流の芸術家が毎年定例で行っていただけるような催しがあれば良いと思います。千葉は自然が豊かで、都心からも近く、沢山の素晴らしい素材があるのに、それが十分に生かされていないと思ひ残念です。インバウンドに向けて工夫をこらした取り組みがもっとできるはずです。

(女性、50～59歳、千葉地域)

○箱ものでなく中身の充実。

(男性、50～59歳、葛南地域)

○税金を収めているのに、芸術活動(県・市・公営)の恩恵にあずかれないとはとうてい思えない。他県の方が立派にやれている思ってしまう。若い世代には本物の芸術を見せるための施策をして欲しい。

(男性、40～49歳、千葉地域)

○ワークショップとか参加できて学べるものを幅広く増やしてほしい。

(女性、40～49歳、印旛地域)

◇支援・援助に関するご意見

○文化財の維持管理には、十分な資金の援助が不可欠です。また、コンサートなど、発表の場所の確保を積極的に支援してほしいです。

(男性、65歳以上、千葉地域)

○地域の祭礼に子どもと参加しています。人口(氏子)の減少により先々の実施が問題になっています。神社の老朽化、山車の修繕費、山車に乗る人形の衣装代(数百万の高額)、金銭的、人間的にも困っています。

(女性、40～49歳、安房地域)

◇施設の内容に関するご意見

○千葉県には多くの歴史や遺産がありますが、肌で感じ接することができません。施設が少ないということもあると思います。ミニバス運行等、考えられて高齢者、障害者も気軽に行ける施設があると良いと思います。最近、増加している外国人の人達も含めた国際的なことが開ける場になればと思います。

(女性、年齢無回答、東葛飾地域)

○とにかく文化芸術の程度は低く見える。これはと思う催事が少ない。音響や設備の整ったホールも少ないようだ。

(男性、65歳以上、葛南地域)

◇施設へのアクセスに関するご意見

○千葉県には、文化的な歴史ある建造物や地域が多く存在すると思います。しかし、交通の便が良くなく訪問しにくい地域も少なくありません。今後、鉄道事業者やバス会社と連携した観光や文化に関する場所への交通手段の多様化を望みます。

(男性、18～29歳、葛南地域)

◇障害者への支援に関するご意見

○障害のある人も、障害のない人と同じように博物館や美術館を利用して鑑賞できるようにしてほしいです。車イスの前に歩行者が立ってしまいなかなか見る事ができない、前に進みたくても人で動けず自由に見ることができない等、不便な事が多いです。

(女性、30～39歳、安房地域)

◇子どもたちへの施策に関するご意見

○子どもを中心とした、学習の中に地域の文化活動を取り入れることと子どもの同伴者を無料にするよう、文化施設への補助をすべき。又施設の利用料にも税金をもっと使うよう考えたい。次世代を負う子ども達にゆとりある教育を行なうよう努めたい。

(男性、65歳以上、葛南地域)

◇その他のご意見

○文化よりも令和1年の9月におきた災害による復興への支援が優先だと思う。

(女性、18～29歳、葛南地域)

○ITを活かしたARなどで案内して文化促進ができるといいですね。この回答フォームももう少し答えやすいようにしてほしいです。

(男性、30～39歳、葛南地域)

○新しい感性を否定しない土壌を作り出してもらいたい。改めて「温故知新」という言葉・考え方を大切にしてもらいたい。

(男性、30～39歳、海匝地域)

○小さい市に住んでいる為、どうしても都市部へ移動しないと見られないというものが多い。ぜひ地方での開催などをしてほしいと思います。

(女性、50～59歳、山武地域)